



取扱説明書

携帯型デジタル簡易無線機

IC-DPR4

PLUS

この無線機をご使用の際には、総務省総合通信局への無線局の登録申請が必要です。

必ず登録申請をして、登録状が手元に届いてからご使用ください。

無線局の登録申請手続きをしないで運用されますと、不法無線局となり1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることとなりますのでご注意ください。



Icom Inc.

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

本製品は、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた登録局対応の携帯型デジタル簡易無線機です。

ご使用の前に、取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分発揮していただくとともに、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

本製品の特長について

- ◎ IP67/IP55/IP54(P.viii)の性能に対応できるように設計されています。(バッテリーカバー、保護カバー装着時に限る)
- ◎ デジタル無線機の特長として、高音質で通話ができます。
- ◎ 上空用チャンネル(15チャンネル)搭載により、グライダーなど高所での通話ができます。
- ◎ サブチャンネルPTT機能(P.3-5)搭載により、最大3CH間^{★1}で送受信ができます。
- ◎ チャンネル番号音声案内機能を使用すると、選択した通話チャンネル番号を音声で読み上げます。
- ◎ Bluetooth[®]機能搭載により、VS-3などのBluetooth[®]対応機器を使用できます。^{★2}
- ◎ ポケットビープメロディー機能を使用すると、ポケットビープの代わりとして、メロディーで通知できます。
- ◎ あらかじめ設定した複数のチャンネルを巡回受信できるメモリーチャンネルスキャン機能を装備しています。
- ◎ 個別呼び出し機能を使用しない場合、種別コード「3R」、「3S」、「3T」、「3U」の他社製デジタル簡易無線機と通話互換があります。^{★3}
- ◎ イコライザー機能を使用すると、好みの音質にできます。
- ◎ ノイズキャンセル機能を使用すると、送信時の音声からノイズ成分を取り除き、音声品質を向上させます。

★1 サブチャンネル2は、設定したチャンネルに応答する場合だけ送信できます。

★2 IC-DPR4 LITEには、Bluetooth機能が搭載されていません。

★3 AMBE+2TM方式を採用している機種に対応しています。

登録商標/著作権について

アイコム、ICOM、ICOMロゴ、ポケットビープは、アイコム株式会社の登録商標です。

Bluetoothのワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、アイコム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

AMBE+2は、Digital Voice Systems, Inc.の商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、各社の商標、または登録商標です。

なお、本文中ではTM、®などのマークを省略しています。

本書の内容の一部、または全部を無断で複写/転用することは、禁止されています。

はじめに

取扱説明書の構成について

本製品の取扱説明書は、本製品に付属の「簡易取扱説明書」と、弊社ホームページに掲載の「取扱説明書」(PDFファイル)で構成されています。

簡易取扱説明書(冊子)

はじめて本製品をお使いになる前に、知っておいていただきたい安全上のご注意や本製品の基本的な操作方法などについて記載しています。

取扱説明書(本書)

各種機能の詳細や使用方法について記載しています。

- ◎ 個別呼び出し機能
- ◎ 別売品について

- ◎ そのほかの機能について
- ◎ 定格

チャンネルについて

種別	種別コード	チャンネル数	使用範囲
登録局	3R、3T	82★ ¹	陸上、海上
登録局(上空利用)	3S、3U	15★ ²	上空、陸上、海上

★1 CH01～CH14、CH15(呼出CH)、CH16～CH82の82チャンネルです。

CH15(呼出CH)は、陸上、または海上で使用时、通話チャンネルが決まるまでの一時的な呼び出しに使用します。

多くの局が呼出用チャンネルを使用しますので、呼び出し後、空いている通話チャンネルに切り替えてから通話をつづけてください。

CH15(呼出CH)については、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。

★2 CH S1～CH S15の15チャンネルです。上空で運用する場合に使用します。

※出荷時の設定では選択できません。

必要に応じて、設定モードで運用チャンネルを変更してください。(P.4-20)

通話範囲について

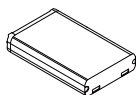
周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)により、受信しにくくなることがあります。

通話範囲は、周囲の建物などの状況により異なりますので、下記の数値を目安に通話してください。(送信出力：2W)

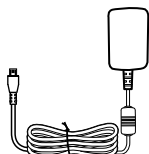
- 見通しのよい場所 : 約1～3.5km
- 市街地 : 約0.5～1km

はじめに

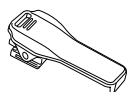
付属品について



バッテリーパック
(BP-304)



AC アダプター
(BC-248)



ベルトクリップ



充電クレードル★
(BC-249)

- ☐ 簡易取扱説明書（別紙）
- ☐ 申請書類一式
- ☐ 保証書

★ お使いになる製品によっては、充電クレードルが同梱されていない場合がありますが、別売品としてもご用意しています。（5章）

使用後はリサイクルへ



Li-ion

この製品は充電式電池使用機器です。

希少な金属を再利用し、地球環境を維持するために、不要になった電池は廃棄せず、端子部分をテープで絶縁し、充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

充電式電池リサイクル協力店については、一般社団法人 JBRCのホームページでご確認ください。

JBRCホームページ <https://www.jbrc.com/>

音声圧縮(符号化)方式について

本製品は、米国DVSI社の開発したAMBE(Advanced Multi-Band Excitation)方式を採用しており、AMBE+2™方式に対応しています。

The AMBE+2™ voice coding Technology embodied in this product is protected by intellectual property rights including patent rights, copyrights and trade secrets of Digital Voice Systems, Inc. This voice coding Technology is licensed solely for use within this Communications Equipment. The user of this Technology is explicitly prohibited from attempting to extract, remove, decompile, reverse engineer, or disassemble the Object Code, or in any other way convert the Object Code into a human-readable form U.S. Patent Nos. #8,359,197, #7,970,606, and #6,912,495 B2.

はじめに

ユーザー登録について

弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> にアクセスしていただき、ユーザー登録用フォーム(サポート情報→法人のお客様(または、個人のお客様)→ユーザー登録)にしたがって必要事項を入力してください。

取り扱い上のご注意

- ◎ アンテナを持って製品を持ち運んだり、振り回したりしないでください。
- ◎ 本製品を極端に寒い場所から持ち運んだ場合は、結露する可能性があります。
結露した場合は、自然乾燥させるか、長いあいだ同じ環境に置くなどして、結露がなくなってからご使用ください。
- ◎ 雨の中や、水滴が付着したまま、またはぬれた手でバッテリーパックを付けたり、はずしたりしないでください。
- ◎ 水や湯を水道の蛇口から直接当てないでください。
- ◎ 無線機本体やバッテリーパックの各端子(充電端子および電源ジャック)にゴミやホコリが付着すると、正常に使用できないことがあります。
乾いた布などで、各端子を定期的にふいてください。
- ◎ 磁気カードを無線機に近づけないでください。
磁気カードの内容が消去されることがあります。
- ◎ バッテリーパックをお買い上げいただいたときや、2ヵ月以上使用しなかったときは、必ず充電してください。
- ◎ 本製品の故障、誤動作、不具合、停電などの外部要因により通信、通話などの機会を失ったために生じる損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求についても当社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

電波法上のご注意

- ◎ 無線局の運用に当たっては、電波利用料を納付する必要があります。(納入告知書により、納付期限内に納付)
- ◎ 登録局の有効期間は、登録日から数えて5年間です。
再登録の申請は、有効期間満了の3ヵ月前から1ヵ月前のあいだに手続きをしてください。
- ◎ 本製品は電波法に基づいて、技術基準適合証明(工事設計認証)を受けた製品です。
分解や改造をしないでください。
- ◎ 他局の通信を妨害することや、通話の内容をほかにもらし、これを窃用することは、かたく禁じられています。
- ◎ 本製品は、日本国内における陸上、および日本周辺海域で運用する無線機です。
CH01～CH14、CH15(呼出CH)、CH16～CH82は上空での運用はできませんのでご注意ください。
上空で運用する場合は、CH S1～CH S15を使用してください。
無線局登録状の範囲を超えた運用は、1年以下の懲役又は100万円以下の罰金に処せられることとなります。

はじめに

電波干渉についてのご注意

Bluetoothの通信では2.4GHz帯の電波を使用するため、次のことから注意してください。この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を必要とする無線局)、および特定小電力無線局(免許を必要としない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を必要とする無線局)が運用されています。

- ◎ この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことをご確認ください。
- ◎ 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、使用場所を変更するか、Bluetoothのご使用をお控えください。
- ◎ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、下記へお問い合わせください。

お問い合わせ先

アイコム株式会社 サポートセンター

0120-156-313(フリーダイヤル)

◆携帯電話・公衆電話からのご利用は、

06-6792-4949(通話料がかかります)

受付(平日 9:00～17:00)

2.4GHz現品表示記号の意味について

「2.4」 : 2.4GHz帯を使用する無線設備

「FH」 : FHSS方式

「1」 : 想定干渉距離が10m以下

「---」 : 全帯域を使用し、かつ移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局の帯域を回避不可

2.4FH1

電磁波ノイズについて

以下に示すようなインバーター回路内蔵の電気製品、および電子機器の近くで使用すると、電磁ノイズの影響を受けて、正常に受信できないことがあります。

インバーター回路内蔵のおもな電子機器

◎LED照明器具

◎電磁調理器

◎給湯器

◎自動車に搭載された電子機器

◎太陽光発電装置

はじめに

防塵/防水性能について

バッテリーカバー、保護カバーを正しく取り付けけた状態で、IP67/IP55/IP54の防塵/防水性能があります。

次のような使いかたをすると、防塵/防水性能を維持できませんので、ご注意ください。

- 水深1m以上、または30分以上水中に放置したとき
- 雨の中や、水滴が付着した状態、またはぬれた手でバッテリーカバーや保護カバーを取り付けたり、はずしたりしたとき
- 海水や砂、泥、洗浄液(洗剤)等が無線機に付着したまま放置したとき
- 落下等外的衝撃により、樹脂変形、ひずみ、ひび割れ等が発生した場合や薬品の付着により筐体、ゴムパッキンに劣化が生じたとき
- 長時間、高い水圧をかけたとき
- $-20^{\circ}\text{C}\sim+60^{\circ}\text{C}$ 以外の環境で使用したとき
- 薬品等の蒸気が発散しているところや薬品に触れるところに放置したとき
- 本製品を分解または改造したとき
- 無線機本体とバッテリーカバー、別売品を接続するコネクタ間に微細なゴミ(糸くず、毛髪、砂など)が挟まっているとき

別売品の使用による防塵/防水性能について

防水形スピーカーマイクロホン(HM-183LS)を使用したときは、IP67の防塵/防水性能があります。

※ 上記以外の別売品を使用したときは、別売品を含めた防塵/防水性能の低いものに制限されます。

海水が付着したときは？

海水が無線機に付着したときは、すぐに洗い流し、水分をふき取って十分に乾燥させてからご使用ください。

海水が付着したまま放置したり、使用したりすると、故障の原因になります。

※ バッテリーカバー、保護カバーを無線機に正しく取り付けけた状態で洗浄してください。

※ 常温の真水でやさしく洗い流してください。

※ ブラシなどを使用せず、手で洗い流してください。

ご注意

次の場合は防水性能を維持できませんので、弊社サポートセンターにご相談ください。

◎ 無線機本体、バッテリーカバー、保護カバーが破損している場合

◎ 落下などの強い衝撃を無線機に与えた場合

はじめに

IP表記について

機器内への異物の侵入に対する保護性能を表すための表記です。

IPにつづけて保護等級を示す数字で記載され、1つ目の数字が防塵等級、2つ目が防水等級を意味します。

また、保護等級を定めない場合は、その等級の表記に該当する数字部分を「X」で表記します。

【本書で記載する保護の程度について】

IP5X(防塵形) : 試験用粉塵を 1m^3 あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

IP6X(耐塵形) : 試験用粉塵を 1m^3 あたり2kgの割合で浮遊させた中に8時間放置したのちに取り出して、無線機の内部に粉塵の侵入がないこと

IPX4(防まつ形) : いかなる方向からの水の飛まつを受けても有害な影響がないこと

IPX5(防噴流形) : 注水ノズル(内径6.3mm)をすべての方向に使用して、3mの距離から、1分間 1m^2 あたり約12.5リットルの水を3分以上注水後、無線機として正常に機能すること

IPX7(防浸形) : 水深1mの静水(常温の水道水)に静かに沈め、30分間放置したのちに取り出して、無線機として機能すること

自動車運転時のご注意

- ◎ 安全運転のため、運転中に無線機を操作したり、無線機の表示部を注視(表示部を見つづける行為)したりしないでください。
- ◎ 無線機を操作、または表示部を注視する場合は、必ず安全な場所に自動車を停車させてください。
- ◎ 安全運転に必要な外部の音が聞こえない状態で自動車を運転しないでください。
一部の都道府県では、運転中にイヤホンやヘッドホンなどを使用することが規制されています。
- ◎ 安全運転のため、無線機を身体に付けた状態で運転しないでください。

ご使用になる前に

■充電のしかた(BC-248の場合)

お買い上げいただいたときや、2ヵ月以上充電しなかったときは、必ず充電してから、ご使用ください。

◎ 充電中、[状態表示]ランプは黄色に点灯し、充電が完了すると消灯します。

●電源を入れて充電しているときは、電池マークがになります。

◎ 下記の動作をしている場合、充電が止まります。

使用しないときは、電源を切って充電してください。

●音声を受信、または送信しているとき

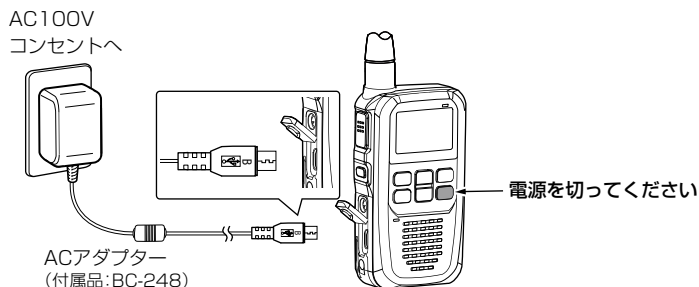
●キー操作音や録音再生など音を出しているとき

●緊急呼び出し機能(P.3-1)やローンワーカー機能(P.3-4)を使用して緊急呼び出しをしたり、受けたりしたとき

◎ 充電が完了した状態で放置していても、バッテリーパックの電圧が低下すると、自動的に再充電を開始します。

※ 使用温度範囲外の環境や劣化が進んだバッテリーパックを充電した場合、充電完了後すぐに充電を再開する場合がありますが、充電クレードル、ACアダプターの故障ではありません。

※ 充電後や充電しないときは、ACアダプターを抜いてください。



▲危険

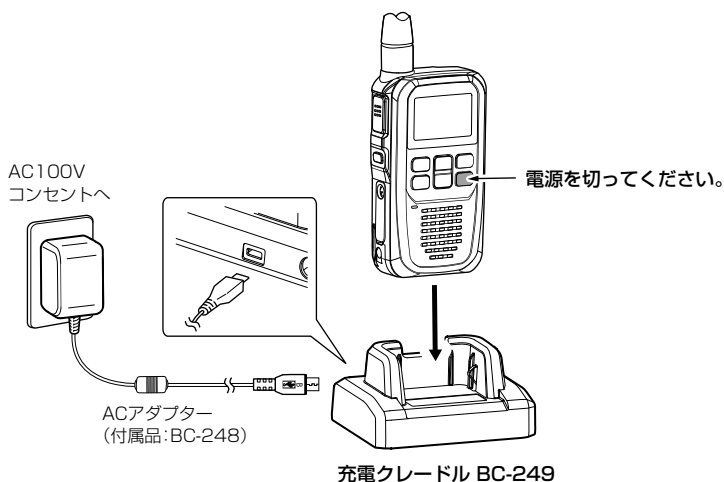
◎ 充電するときは、必ず本製品に対応したACアダプターをご使用ください。

◎ 別紙の「簡易取扱説明書」を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

ご使用になる前に

■充電のしかた(BC-249の場合)

BC-248(付属品)、またはBC-228(別売品)をBC-249に接続することで充電できます。
※ BC-228を使用することで、BC-249を最大6台まで連結して、同時に充電できます。
(P.5-4)



△危険

- ◎ 充電するときは、必ず本製品に対応した充電クレードル、ACアダプターをご使用ください。
- ◎ 別紙の「簡易取扱説明書」を併せてお読みになり、安全な方法で充電してください。

ご注意

- ◎ 金属や導電性のあるもので充電端子間をショートさせるなど定格電流を超えた場合、充電クレードルの保護装置が動作し、充電できなくなります。
このような場合、ACアダプターを抜き差しすると、充電が再開します。
- ◎ 満充電に近い状態では充電動作に入らないため、電池残量が  (十分)のときに充電しないことがあります。
- ◎ 別紙の「簡易取扱説明書」に記載の「故障かな?と思ったら」もご確認ください。

ご使用になる前に

■充電時間と使用時間の目安

ご使用になる充電クレードル、ACアダプターによって、充電時間が異なります。

名 称 定 格 項 目		BP-304				
電池の種類		リチウムイオン				
電池の容量		1881mAh min. / 1900mAh typ.				
出 力 電 圧		3.7V				
寸 法		54.4×35.0×10.7 〈条件〉突起物は含まず／〈単位〉mm				
使用時間	Bluetooth*	OFF		ON		
	パワーセーブ	OFF	ON	OFF	ON	
	送信出力	2W	約9時間	約12時間	約8.5時間	約11.5時間
		1W	約10時間	約13時間	約9.5時間	約12.5時間
		0.5W	約11.5時間	約14.5時間	約11時間	約14時間
	【条件】送信5、受信5、待ち受け受信90の割合で繰り返し運用					
充電時間		ACアダプター (BC-248)使用時 : 約4時間 ACアダプター (BC-248)+ 充電クレードル (BC-249)使用時 : 約5時間 ※BC-249を使用すると、充電時間が長くなります。				

★Bluetooth搭載版のみ

※ 出荷時、パワーセーブ機能(P.4-19)は、「OFF」に設定されています。

※ バッテリーパックに異常があると思われるときは、使用を中止して、お買い上げの販売店、または弊社サポートセンターにお問い合わせください。

もくじ

はじめに ii

本製品の特長について	ii
登録商標/著作権について	ii
取扱説明書の構成について	iii
チャンネルについて	iii
通話範囲について	iii
付属品について	iv
音声圧縮(符号化)方式について	iv
ユーザー登録について	v
取り扱い上のご注意	v
電波法上のご注意	v
電波干渉についてのご注意	vi
2.4GHz現品表示記号の意味について	vi
電磁波ノイズについて	vi
防塵/防水性能について	vii
別売品の使用による防塵/防水性能について	vii
海水が付着したときは？	vii
IP表記について	viii
自動車運転時のご注意	viii

ご使用になる前に ix

■ 充電のしかた(BC-248の場合)	ix
■ 充電のしかた(BC-249の場合)	x
■ 充電時間と使用時間の目安	xi

1. 各部の名称と機能 1-1

■ 前面部/側面部	1-1
■ 表示部	1-3

2. 個別呼び出し機能による通話 2-1

■ 呼び出しかたの種類について	2-1
■ 個別呼び出し機能を設定するには	2-2
■ 個別呼び出し機能で通話するには	2-5

もくじ

3. そのほかの機能について ————— 3-1

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)	3-1
■ ローンワーカー機能	3-4
■ サブチャンネルPTT機能	3-5
■ プライベートチャンネル機能	3-10
■ メモリーチャンネルスキャン機能	3-13
■ ワンタッチアンサー機能	3-14
■ モニター機能	3-15
■ ポケットビープ機能	3-15
■ ポケットビープメロディー機能	3-15
■ 着信履歴機能	3-16
■ 自動音量機能	3-17

4. 各種機能の設定 ————— 4-1

■ 設定項目一覧	4-1
■ 設定モードに移行するには	4-5
■ 画面下部の表示と実行	4-6
■ 設定のしかた	4-7
■ 設定モードの音量調整について	4-7
■ 設定項目について	4-8

5. 別売品について ————— 5-1

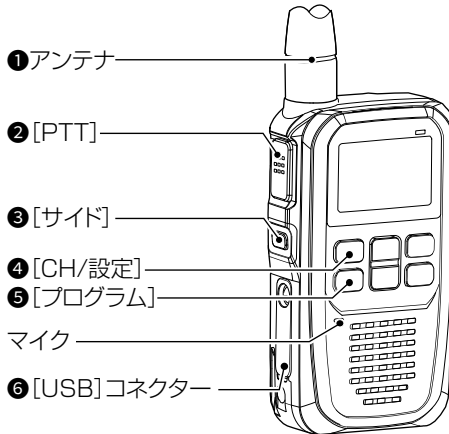
■ 別売品一覧表	5-1
■ BC-249の連結充電について	5-4
■ HM-238LS	5-6
■ VS-3	5-7

6. 定格 ————— 6-1

■ 無線機本体	6-1
■ BC-249 充電クレードル	6-2

7. さくいん ————— I

■前面部/側面部



① アンテナ

電波を発射、または受信します。

② [PTT]

待受状態 : 押しているあいだは送信状態、はなすと待受状態に切り替わります。

設定モード時 : 設定変更を適用して、無線機を再起動します。(P.4-7)

③ [サイド]

待受状態 : 任意の機能を割り当てる(P.4-15)、またはサブチャンネルのPTTスイッチ(P.3-5)として使用できます。

設定モード時 : 接続する機器の検索、グループ番号のメンバー指定などの項目を設定するときに操作します。(P.4-6)

④ [CH/設定]

待受状態 : 短く押すと、編集モードになります。

長く(約1秒)押すごとに、送信出力(2W(High)/1W(Middle)/0.5W(Low))が切り替わります。

設定モード時 : 設定項目を選択します。

⑤ [プログラム]

待受状態 : 任意の機能を割り当てて、使用できます。(P.4-16)

設定モード時 : 音量を調節する画面に移動します。(P.4-7)

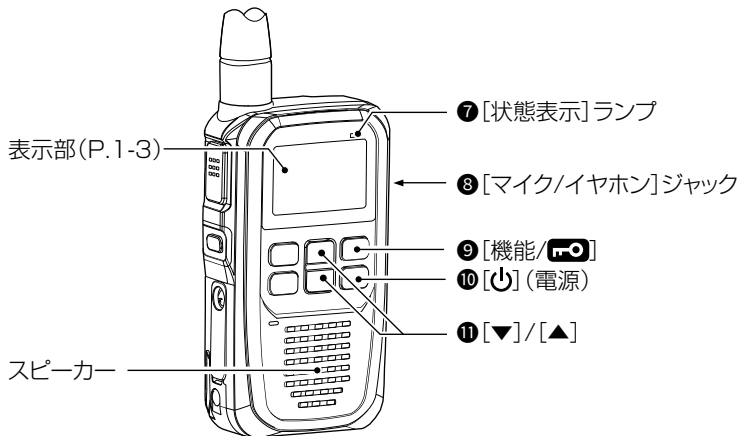
⑥ [USB] コネクター

付属のACアダプター(BC-248)を使用して充電するコネクターです。

※ 防水性能の維持と端子保護のため、ACアダプターを使用しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。

1 各部の名称と機能

■ 前面部/側面部(つづき)



⑦ [状態表示] ランプ

[PTT]を押しているあいだ(送信中)は赤色、電波を受信しているあいだは緑色に点灯します。

⑧ [マイク/イヤホン]ジャック

別売品のヘッドセットなどを接続するときは、保護カバーをはずして接続してください。

※ 別売品の接続については、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。

※ 防水性能の維持と端子保護のため、別売品を接続しないときは、保護カバーを取り付けてご使用ください。

⑨ [機能/]

待受状態 : 短く押すごとに、ユーザーコード表示、秘話表示、個別呼び出し表示などに切り替わります。

長く(約1秒)押すごとに、ロック機能を「ON」/「OFF」できます。

設定モード時 : 設定項目を選択します。

⑩ [] (電源)

電源の「ON」/「OFF」をします。

⑪ [▼]/[▲]

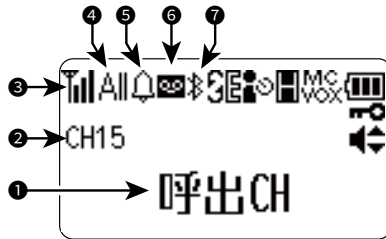
待受状態 : 音量を調整します。

編集モードのときは、チャンネルの変更や設定値の切り替えをします。

設定モード時 : 設定値の切り替えをします。

1 各部の名称と機能

■表示部



① [相手局番号]/[設定内容]表示

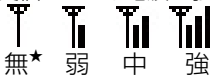
音量、通話チャンネル、ユーザーコード、秘話キー、設定モードで選択した設定項目や設定内容などが表示されます。

② ガイドメッセージ表示

通話チャンネル、または着信などの状態が表示されます。

③ 電波状態表示

受信している電波の強さ(目安)が4段階で表示されます。



★待受時、または受信電波の強さが著しく弱いときの表示です。

④ 呼び出しモード表示

All : 全局呼び出しとなる項目を表示中

グ : 設定モードでグループのメンバーを設定中(P.4-12)

☒ : グループ呼び出しを受信中(P.2-9)、または着信を許可するグループ番号を表示中(P.2-8)

⑤ ベル表示

通話相手から個別呼び出し(着信)を受けたとき点滅します。

ポケットビープ機能(P.3-15)を設定中は、点灯します。

⑥ 録音機能表示

録音データ状態、録音動作状態が表示されます。



：録音データがある



：録音中



：録音を一時停止中

⑦ Bluetooth機能表示(Bluetooth搭載版のみ)



：Bluetooth機能が「ON」のとき



：Bluetooth機器と接続中のとき

※ Bluetooth機器との接続について詳しくは、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。

1 各部の名称と機能

■ 表示部(つづき)



⑧ 秘話表示

秘話機能が設定されているとき、表示されます。

⑨ 緊急呼び出し(エマージェンシー)表示

[プログラム]の長押し(P.4-16)に「エマージェンシー」が割り当てられているとき、表示されます。

⑩ ローンワーカー機能表示

ローンワーカー機能(P.3-4)が設定されているとき、表示されます。

⑪ 送信出力表示

各通話チャンネルの送信出力設定が表示されます。

※ 無線機の温度が高温になっている場合、無線機を保護するために、送信出力が自動的に低下します。

そのとき、送信出力表示は点滅します。

H : High(2W)

M : Middle(1W)

L : Low(0.5W)

R : 受信専用

⑫ スキャン表示

実行しているスキャンの種類が表示されます。

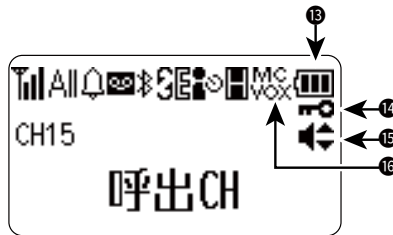
PRI : プライベートチャンネルスキャン(P.3-11)実行中

MC : メモリーチャンネルスキャン(P.3-13)実行中

SUB : サブチャンネルスキャン実行中

1 各部の名称と機能

■ 表示部(つづき)



13 (電池残量)表示

電池残量が4段階で表示されます。



14 ロック機能表示

ロック機能が動作しているとき、表示されます。

15 操作モード表示

音量変更モード、編集モード時に点灯します。

🔊：音量変更モード

◆：編集モード(P.2-5)

※ 音量変更モードについては、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。

16 VOX機能表示

VOX機能が「内部」、「外部」、または「Bluetooth」(Bluetooth搭載版のみ)に設定(P.4-10)されているとき、表示されます。

※ VOX機能については、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。

■呼び出しかたの種類について

呼び出しかたには、次の3種類の方法があります。

◎全局呼び出し

通話チャンネル(使用例：CH05)とユーザーコード(使用例：UC 001)が同じ相手局(使用例：Bさん/Cさん/Dさん)を一斉に呼び出します。

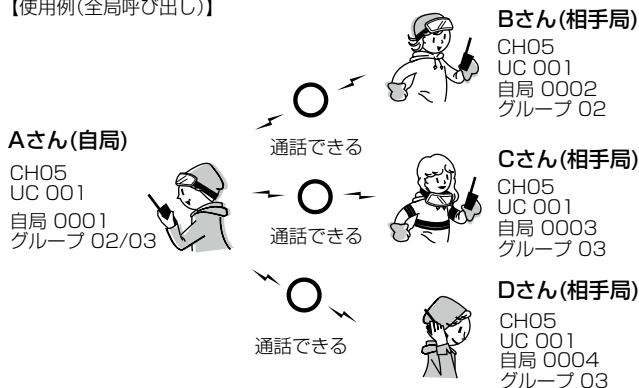
◎個別呼び出し

通話チャンネル(使用例：CH05)とユーザーコード(使用例：UC 001)が同じで、呼び出す相手局(使用例：Bさん)の自局番号(使用例：0002)を指定して呼び出します。

◎グループ呼び出し

通話チャンネル(使用例：CH05)とユーザーコード(使用例：UC 001)が同じで、メンバー指定(P.4-12)されたグループ番号(使用例：グループ 03)に所属するすべての相手(使用例：Cさん/Dさん)を呼び出します。

【使用例(全局呼び出し)】



【「呼出CH」表示での機能制限について】

CH15は、陸上、または海上で可以使用の呼出用チャンネルで、「呼出CH」と表示されます。

「呼出CH」表示のときは、グループ通話や秘話機能、個別呼び出し機能による通話はできません。



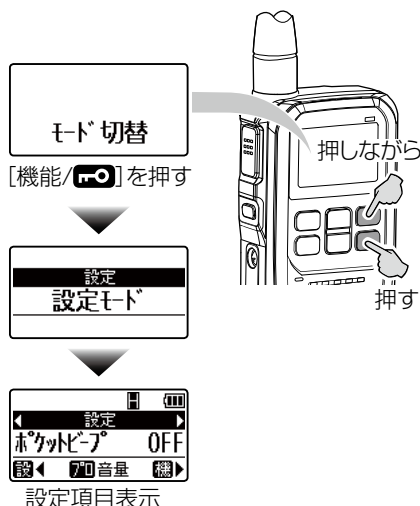
呼出用チャンネル表示

2 個別呼び出し機能による通話

■個別呼び出し機能を設定するには
通話に使用するすべての無線機で設定が必要です。

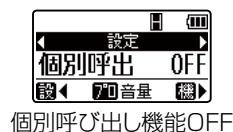
1 設定モードにする

1. 本製品の電源を切った状態で、[機能/📶]を押しながら、「モード切替」が表示されるまで[🔊]を押します。
※「モード切替」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやり直してください。
2. 「モード切替」が表示されたらすぐに、[機能/📶]を押します。
 - 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」が表示されたあと、「ポケットビープ」を表示すれば、設定モードに移行しています。



2 「個別呼出 ON」を選択する

1. [CH/設定]、または[機能/📶]を押して、「個別呼出 OFF」(初期設定時)を選択します。(P.4-11)
2. [▼]を押すと「個別呼出 OFF」、[▲]を押すと「個別呼出 ON」を選択できます。
※ 個別呼び出し機能で使用するすべての無線機に設定してください。
手順3以降の設定は、2-1ページの例(設定値)を使用して説明しています。



2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能を設定するには(つづき)

3 自局番号を設定する

自局番号とは、自分が個別呼び出しを受けるための番号です。

1. [機能/🔑]を押して、「自局番号 0001」(初期設定時)を選択します。(P.4-11)
2. [▼]/[▲]を押して、自局番号を設定します。

【設定例】

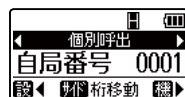
個別呼び出し機能で使用するすべての無線機(使用例：Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)に設定してください。

Aさん(自局) : 0001 Bさん(相手局) : 0002

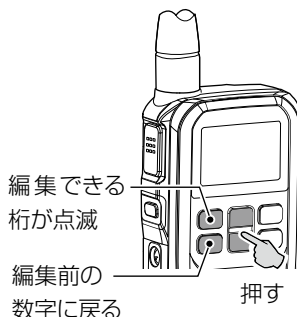
Cさん(相手局) : 0003 Dさん(相手局) : 0004

【編集できる桁を変更するには】

1. [サイド]を押します。
 - 編集できる桁が点滅します。
2. [▼]/[▲]を押して、自局番号を設定します。
 - ※ [CH/設定]を押すごとに、編集できる桁が1つ右に移動します。
 - ※ [プログラム]を押すと、編集前の数字に戻ります。
3. 内容を確定するときは、[機能/🔑]を短く押します。
 - 桁の点滅が点灯に変わります。

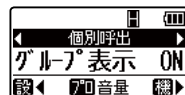


自局番号表示
(表示例：0001)



4 「グループ表示 ON」を選択する

1. [機能/🔑]を押して、「グループ表示 OFF」(初期設定時)を選択します。(P.4-12)
2. [▼]を押すと「グループ表示 OFF」、[▲]を押すと「グループ表示 ON」を選択できます。
 - ※ 個別呼び出し機能で使用するすべての無線機(使用例：Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)に設定してください。



グループ番号表示ON

2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能を設定するには(つづき)

5 グループ呼び出しのメンバー指定

メンバーとして所属するグループの番号を指定します。

1. [機能/🔑]を押して、「グループ 01」(初期設定時)を選択します。(P.4-12)
2. [▼]/[▲]を押して、指定するグループ番号を選択します。
3. 選択したグループ番号(例: グループ 02)を表示した状態で、[サイド]を押します。



グループ番号表示ON

- 「🔑」が点灯している番号のグループから呼び出しを受けとれます。

※ 複数のグループからの呼び出しを受けるときは、手順2と3の操作を繰り返します。

【メンバー指定するグループ番号の例】

グループ呼び出しで使用するすべての無線機(使用例: Aさん/Bさん/Cさん/Dさん)にメンバー指定してください。

Aさん(自局) : グループ 02/グループ 03

Bさん(相手局) : グループ 02

Cさん(相手局) : グループ 03

Dさん(相手局) : グループ 03

6 変更を適用する

[PTT]を押して、変更を適用します。

- 設定モードが解除され、設定した自局番号の表示後、「All」(全局)が表示されます。

※ 設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。

※ 設定モードを解除するまで通話できません。

IC-DPR4

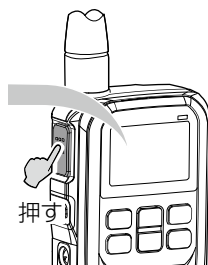
再起動直後

自局0001

自局番号表示

↑ All
CH 05

「All」(全局)を表示



2 個別呼び出し機能による通話

■個別呼び出し機能で通話するには

相手局番号(相手の自局番号)やグループ番号を指定して相手局と通話する方法について、説明します。

※ 個別呼び出し機能がすべての無線機に設定(P.2-2)されているものとして説明しています。

1 通話チャンネルを合わせる

1. [CH/設定] を短く押して編集モードにします。

※ 編集モード時は、「」が消灯します。

何も操作しない状態が5秒以上つづくと、

「」が点灯して、編集モードが解除されます。

2. [▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

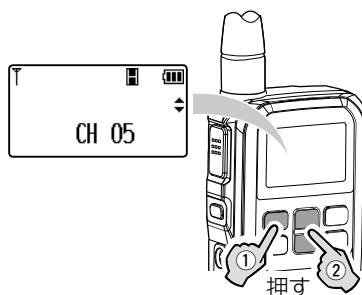
※ 設定できる範囲は、「01～14」、「16～82」、「S1～S15」★です。

★出荷時の設定では上空用チャンネル(CH S1～CH S15)を選択できません。

必要に応じて、設定モードで運用チャンネルを変更してください。(P.4-20)

※ [▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。

一巡すると、「ピピッ」と鳴ります。



「All」(全局)表示で送信すると

通話チャンネル、ユーザーコード、秘話機能の設定が同じすべての相手を呼び出しできます。

あらかじめ、自局番号を通話相手に知らせるときなどに使用できます。

2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能で通話するには(つづき)

2 相手局番号を合わせる

▶ 1局を呼び出すときは(個別呼び出し)

1. [機能/

2. [CH/設定]を短く押して編集モードにします。

※ 編集モード時は、「」が消灯します。

何も操作しない状態が5秒以上つづくと、「」が点灯して、編集モードが解除されます。

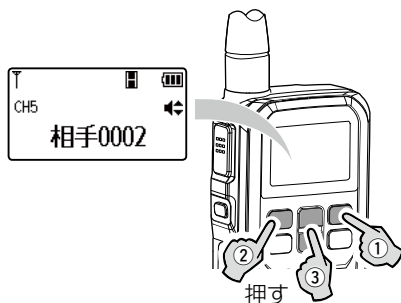
3. [▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。

※ 設定できる範囲は、「01～14」、「16～82」、「S1～S15」★です。

★出荷時の設定では上空用チャンネル(CH S1～CH S15)を選択できません。

必要に応じて、設定モードで運用チャンネルを変更してください。(P.4-20)

※ [▼]/[▲]を押しつづけると、連続で切り替わります。一巡すると、「ピピッ」と鳴ります。



【編集できる桁を変更するには】

1. 編集モードの状態では、[CH/設定]を長く(約1秒)押します。

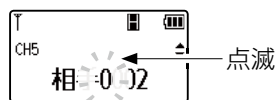
2. [▼]/[▲]を押して、相手局番号を選択します。

※ [CH/設定]を押すごとに、編集できる桁が1つ右に移動します。

※ [プログラム]を押すと、編集前の数字に戻ります。

3. 内容を確定するときは、[機能/

• 桁の点滅が点灯に変わります。



[CH/設定]を長く押したとき
(例：上位1桁目)

2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能で通話するには

2 相手局番号を合わせる(つづき)

▶ グループを呼び出すときは

1. [機能/

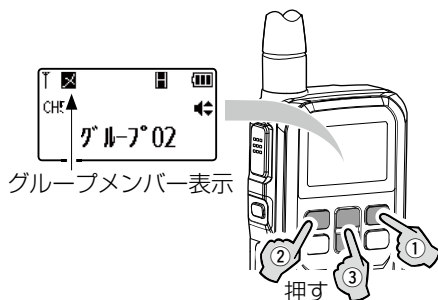
2. [CH/設定]を短く押して編集モードにします。

※ 編集モード時は、「」が消灯します。
何も操作しない状態が5秒以上つづくと、「」が点灯して、編集モードが解除されます。

3. [▲]/[▼]を押して、呼び出しをする相手のグループ番号(例：グループ 02)に合わせます。

※ 通話相手がグループ番号のメンバー指定をしていない場合、そのグループ番号で呼び出しをしても、こちらの音声は相手に聞こえません。

ただし、その相手から呼び出しを受けた場合、相手の音声はこちらに聞こえます。



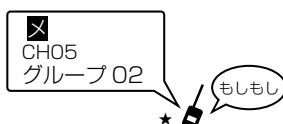
メンバー指定あり：送信時



メンバー指定なし：受信時



メンバー指定あり：受信時



メンバー指定なし：送信時



★ 呼び出しを受けた場合、相手局番号とグループ番号が交互に表示されます。

呼び出しを受ける前の表示に戻る(終話する)までに[PTT]を押すと、応答できます。

2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能で通話するには(つづき)

3 呼び出す

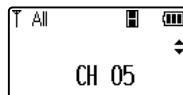
1. 呼び出す前に、現在の表示内容を確認します。

表示内容によって、3とおりの呼び出しができます。

◎**全局呼び出しをする場合**

「All」(全局)表示

(例: CH05)

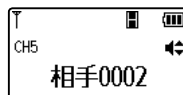


「All」(全局)表示

◎**個別呼び出しをする場合**

「相手局番号」表示

(例: 相手0002)

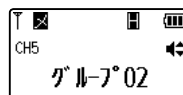


相手局番号表示

◎**グループ呼び出しをする場合**

「グループ番号」表示

(例: グループ 02)



グループ番号表示

2. [PTT]を押しながら、相手に呼びかけます。

- [状態表示]ランプが赤色に点灯します。

2 個別呼び出し機能による通話

■ 個別呼び出し機能で通話するには(つづき)

4 呼び出しを受ける

呼び出しを受けたときは、下図の表示状態で[PTT]を押すと、応答できます。

◎ 全局呼び出しを受けたとき

相手局番号とALLが交互に表示されます。

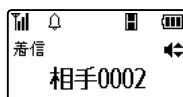


◎ 個別呼び出しを受けたとき

相手局番号と「🔔」が点滅表示されます。

ポケットビープ機能やポケットビープメロディー機能が設定されているときは、設定されたビープ音やメロディーが鳴ります。(P.3-5、P.4-8)

※ 応答すると、「着信」→「通話」表示に変わります。



相手局番号表示(点滅)

◎ グループ呼び出しを受けたとき

相手局番号とグループ番号を交互に点滅表示します。



■緊急呼び出し機能(エマージェンシー)

個別呼び出し機能による通話で、迅速な連絡が必要な場合、自分と同じ通話チャンネルで緊急呼び出し機能が設定された相手に、緊急表示と警告音で通知できます。

※ 工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードで、[プログラム]の割り当て「長押」を「エマージェンシー」に設定してください。

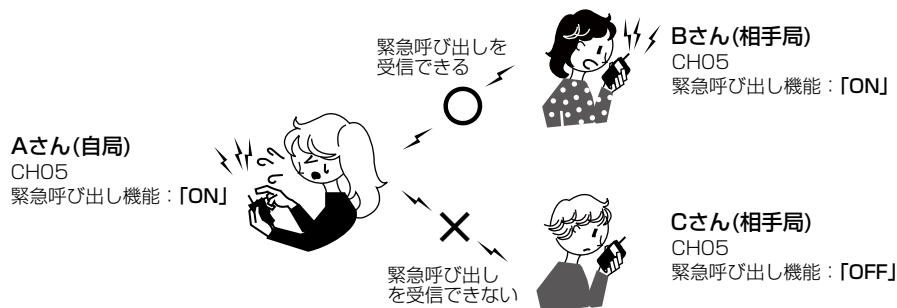
(P.4-16)

【緊急呼び出し機能を正しく使用するには】

あらかじめ、個別呼び出し機能(P.4-11)と緊急呼び出し機能の両方を送信側と受信側の無線機に設定してください。

設定されていないときは、緊急呼び出しの受信、または応答ができません。

【使用例】



△ 警告

緊急呼び出し機能(エマージェンシー)は、大きな音量の警告音が連続で鳴ります。本製品にヘッドセットやイヤホンを取り付けて、緊急呼び出し機能を使用する場合は、「」が点灯している状態で、「」/「」を押して、適切な音量になっていることを確認してください。

下記のような場合、正しく設定されていても緊急呼び出しが通知されなかったり、通知されても警告音が鳴らなかったりすることがあります。

- ◎ 音量が最小に設定されている場合
- ◎ 動作中、電池の消耗により自動的に電源が切れた場合
- ◎ 電波状況の悪化により電波が届かない場合

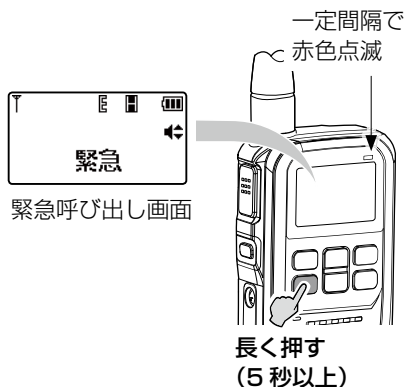
3 そのほかの機能について

■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)(つづき)

【緊急呼び出しのしかた】

下記の操作をすると、個別呼び出し機能が設定された自分と同じ通話チャンネルの相手へ一斉に緊急呼び出しします。

1. 緊急呼び出しをする相手と同じ通話チャンネル番号を選択します。
2. 「緊急」が表示されるまで、[プログラム]を長く(5秒以上)押します。
 - 「緊急」表示の点滅と同時に、警告音が「ピピピ…」と鳴り、一定の間隔ごとに、[状態表示]ランプが赤色に点滅します。
3. その状態で、相手局から応答があるのを待ちます。
 - 応答があると、警告音が停止して、[状態表示]ランプが緑色に点灯します。
4. 通話をつづけます。
 - 終話すると、「緊急」表示の点滅を停止し、緊急呼び出しをする前の状態に戻ります。

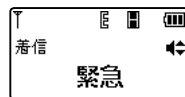


3 そのほかの機能について

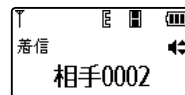
■ 緊急呼び出し機能(エマージェンシー)(つづき)

【緊急呼び出しを受けたときは】

1. 警告音が「ピピピ…」と鳴って、[状態表示]ランプが赤色に点滅します。
また、「緊急」と「相手局番号」を交互に表示します。
2. [PTT]を押して、応答します。
 - 警告音が停止します。
3. 通話をつづけます。
 - 終話すると、緊急呼び出しを受信する前の状態に戻ります。



(交互に表示)



緊急呼び出し着信画面

【緊急呼び出しを停止するには】

無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

ご注意

下記の場合は、緊急呼び出しができません。

- ◎「呼出CH(CH15)」を選択している場合
- ◎混信防止機能により送信制限されている場合
- ◎送信禁止チャンネルを選択している場合

※混信防止機能については、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。

3 そのほかの機能について

■ローンワーカー機能

本製品を一定時間操作しなかった場合、ローンワーカー機能が動作し、自動で緊急呼び出しをします。

警備中などに定期連絡を義務付けているとき、何らかの事故が発生して連絡ができなかった場合に便利です。

※ 工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-14)

【動作について】

無線機の操作をしない状態が60分間つづいた場合、「ピッ」と警告音が鳴ります。

警告音が鳴ったあと、さらに60秒間操作をしない状態がつづく、自動で緊急呼び出しをします。

※ 緊急呼び出しが動作するまでに、スイッチ操作、またはキー操作をすると、警告音を鳴らすまでの時間(60分)がリセットされます。

※ 無線機の電源を切ることで、緊急呼び出しを停止できます。

緊急呼び出し機能、ローンワーカー機能の使用について

本製品に搭載されている緊急呼び出し機能、ローンワーカー機能は、電池の消耗、周囲の状況(天候、山や建物などの障害物)など、周囲の環境によっては、通信できないこともありますので、高度な信頼性が必要な用途に使用されることを目的としていません。

補助的な使用を目的とした機能としてご理解ください。

緊急呼び出し機能、ローンワーカー機能を使用できないことが原因で発生したいかなる損害についても、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

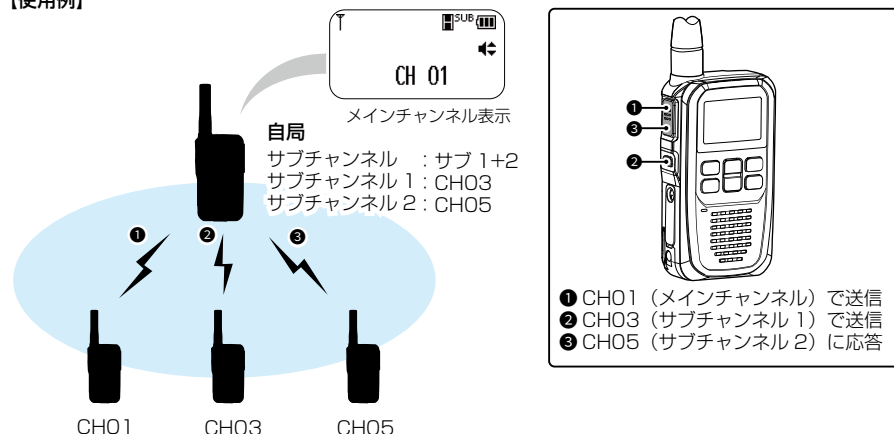
3 そのほかの機能について

■サブチャンネルPTT機能

[サイド]にサブチャンネルを割り当てすることで、チャンネル切り替え操作をしないで最大3チャンネル間で送受信ができる機能です。

※サブチャンネルPTT機能を設定時、[サイド]に割り当てられている機能は無効になります。

【使用例】



※ サブチャンネル2は、設定したチャンネル(例:CH05)に応答する場合だけ送信できます。
設定したチャンネルに応答するときは、「メインPTTのチャンネル切り替え」(P.4-23)を「応答」に設定してください。

※「メインPTTのチャンネル切り替え」を「固定」に設定した場合、サブチャンネル2は、設定したチャンネルからの受信専用になります。

【サブチャンネルPTT機能と併用できない機能について】

サブチャンネルPTT機能を使用している場合、下記の機能は使用できません。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ◎ポケットビープ機能(P.3-15) | ◎送信モニタービープ機能(P.4-9) |
| ◎VOX機能 | ◎着信履歴機能(P.4-13) |
| ◎録音機能 | ◎スキャン機能(P.3-11、P.3-13) |
| ◎スキャン一時スキップ機能(P.4-18) | ◎ワンタッチアンサー機能(P.3-14) |
| ◎モニター機能(P.3-15) | ◎パワーセーブ機能 |

※ VOX機能、録音機能、パワーセーブ機能については、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。

3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能(つづき)

1 設定モードにする

1. 本製品の電源を切った状態で、[機能/🔑]を押しながら、「モード切替」が表示されるまで[🔑]を押します。

※「モード切替」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやり直してください。

2. 「モード切替」が表示されたらすぐに、[機能/🔑]を押します。

- 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」が表示されたあと、「ポケットビープ」を表示すれば、設定モードに移行しています。

モード切替
[機能/🔑]を押す

設定
設定モード

設定
ポケットビープ OFF
設定 70 音量 機

設定項目表示



2 サブチャンネルPTT機能を設定する

1. [CH/設定]、または[機能/🔑]を押して、「サブチャンネル OFF」(初期設定時)を選択します。(P.4-22)
2. [▲]を押して、「サブ1」、または「サブ1+2」を選択します。

サブ1 : [サイド]を押したとき、サブチャンネル1で送信する

サブ1+サブ2 : [サイド]を押したとき、サブチャンネル1で送信する

サブチャンネル2で設定した通話チャンネルで[PTT]での応答★に使用する

★「受信後スキャン再開時間」(P.4-25)で設定した時間までに[PTT]で応答する必要があります。

設定
サブチャンネル OFF
設定 70 音量 機

サブチャンネル機能OFF

3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能(つづき)

3 サブチャンネルに通話チャンネルを割り当てる

1. [機能/]を押して、「サブ1 CH01」(初期設定時)を選択します。
(P.4-22)
2. [▼]/[▲]を押して、サブチャンネル1に割り当てる通話チャンネルを選択します。
※「CH01～CH14」、「呼出CH」、「CH16～CH82」は、上空で使用できません。



表示例：CH03

※ サブチャンネルPTT機能の設定が「サブ1+2」のときは、もう一度[機能/]を押して、「サブ2 CH02」(初期設定時)を選択し、サブチャンネル2に通話チャンネルを割り当ててください。

4 変更を適用する

[PTT]を押して、変更を適用します。

- 設定モードが解除され、サブチャンネルPTT機能が使用できるようになります。
- ※ 設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
- ※ 設定モードを解除するまで通話できません。

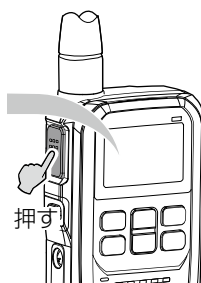
IC-DPR4

再起動直後

サブチャンネルPTT

CH 01

「SUB」を表示



3 そのほかの機能について

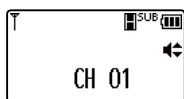
■ サブチャンネルPTT機能(つづき)

【サブチャンネルで送信する】

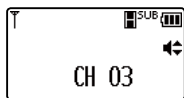
[サイド]を押しつづけると、サブチャンネル1に割り当てられた通話チャンネルで送信します。

※ サブチャンネル2は、設定したチャンネルに応答する場合のみ送信できます。

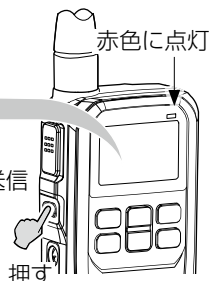
応答する場合は、「メインPTTのチャンネル切り替え」(P.4-23)が「応答」に設定する必要があります。



通話チャンネル表示



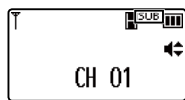
例：サブチャンネル1で送信
(CH03の場合)



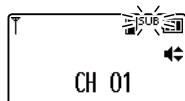
【通話チャンネルの変更について】

サブチャンネルのスクヤン中(「SUB」点灯)は、表示中の通話チャンネルを変更できません。通話チャンネルを変更する場合は、以下の手順で変更してください。

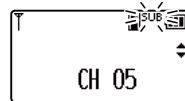
1. [CH/設定]、または[機能/🔑]を短く押します。
 - 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスクヤンが一時停止します。
2. [CH/設定]を短く押して編集モードにします。
 - ※ 編集モード時は、「🔊」が消灯します。
 - 何も操作しない状態が5秒以上つづくと、「🔊」が点灯して、編集モードが解除されます。
3. [▼]/[▲]を押して、相手と同じ通話チャンネルに合わせます。



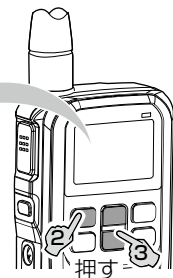
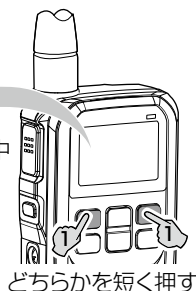
サブチャンネルスクヤン中
(「SUB」点灯)



サブチャンネルスクヤン一時停止中
(「SUB」点滅)



通話チャンネル表示
(例：CH05)



3 そのほかの機能について

■ サブチャンネルPTT機能(つづき)

【サブチャンネルで個別呼び出しをする】

個別呼び出し機能(P.2-1)が設定されている場合、サブチャンネルで個別呼び出しができません。

1. [CH/設定]、または[機能/🔑]を短く押します。

- 「SUB」が点滅し、サブチャンネルのスクリーンが一時停止します。

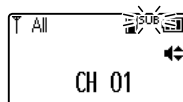
2. 「SUB」が点滅しているあいだに、[機能/🔑]を押して、「相手局番号」(初期設定時:0002)を選択します。

3. [CH/設定]を短く押して編集モードに入ります。

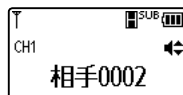
※ 編集モード時は、「🔊」が消灯します。

何も操作しない状態が5秒以上つづくと、「🔊」が点灯して、編集モードが解除されます。

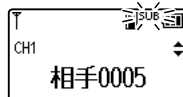
4. [▼]/[▲]を押して、相手の自局番号、または呼び出しをするグループ番号を選択します。
5. 他局が通信していないこと([状態表示]ランプ:消灯)を確認後、[サイド]を押しながら、マイクに向かって通話相手に呼びかけます。



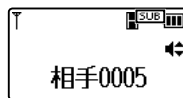
1. サブチャンネルスキャン一時停止中
(「SUB」点滅)



2. 呼び出す相手を選択する
(例: 個別)



4. 相手の自局番号を選択する
(例: 0005)



5. サブチャンネルで送信する
(「SUB」点灯)

3 そのほかの機能について

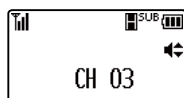
■ サブチャンネルPTT機能(つづき)

【サブチャンネルで受信する】

サブチャンネルで受信すると、サブチャンネルに設定された通話チャンネル表示(例: CH03)になります。

応答するときは、そのサブチャンネルが設定されている[サイド]を押します。

※「メインPTTのチャンネル切り替え」(P.4-23)を「応答」で設定したときは、[PTT]で応答できます。



例: サブチャンネル1で受信
(CH03の場合)

ご注意

「SUB」が点灯しているあいだ、無線機は常にサブチャンネルをスキャンしています。
[CH/設定]や[機能/]の操作後など、サブチャンネルのスキャンが一時停止中(「SUB」点滅)は、サブチャンネルで受信できませんので、ご注意ください。

■ プライベートチャンネル機能

特定の通話チャンネル(例: 呼出CH)をプライベートチャンネルに設定することで、よく利用する通話チャンネルとの切り替えが簡単になります。

※ 工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

下記の操作をする前に、設定モードで、[プログラム]の割り当て「短押」(P.4-16)を「プライベート」に設定してください。

※ 工場出荷時や全設定初期化時は、「呼出CH」(呼出用チャンネル: CH15)がプライベートチャンネルに設定されています。

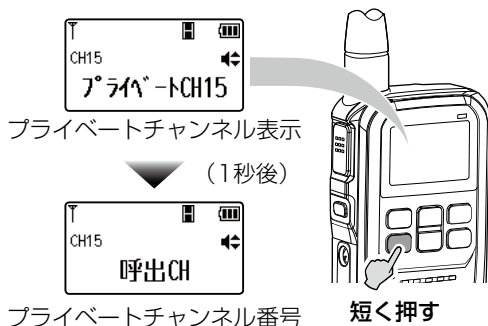
設定モードから設定を変更できます。(P.4-15)

※ プライベートチャンネル番号が表示されているとき、サブチャンネルPTT機能(P.3-5)は無効になり、サブチャンネルPTT機能と併用できない機能(P.3-5)も使用できません。

【操作のしかた】

「プライベート」を割り当てた[プログラム]を短く押すと、プライベートチャンネル番号に切り替わります。
同じ操作をすると、通話チャンネル番号に戻ります。

※ プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、プライベートチャンネル機能は無効です。



3 そのほかの機能について

■プライベートチャンネルスキャン機能

よく利用する通話チャンネル(例: CH05)を受信しながら、プライベートチャンネル番号(例: 呼出CH)を一定の時間ごとに受信(監視)できます。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

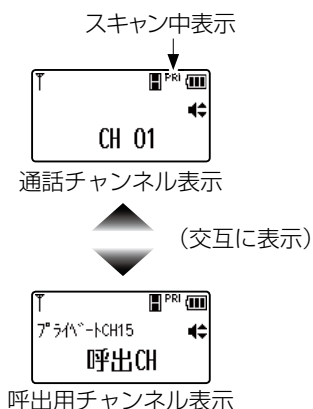
下記の操作をする前に、設定モードで[サイド]の割り当て(P.4-15)を「スキャン」に設定し、スキャンの設定(P.4-17)を「プライベート」に設定してください。

※サブチャンネルPTT機能(P.3-5)を使用している場合、プライベートチャンネルスキャン機能は使用できません。

【操作のしかた】

「スキャン」を割り当てた[サイド]を操作すると、「ピッ」と鳴ります。

- プライベートチャンネルスキャンを開始します。
 - ※「呼出CH」(呼出用チャンネル: CH15)をプライベートチャンネルに設定したときは、右記のように切り替わります。
 - ※プライベートチャンネル番号に秘話キーが設定されているときは、スキャン中に、「9」が表示されます。
 - ※プライベートチャンネル番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、スキャンしません。



ご参考に

[サイド]の代わりに[プログラム]を操作することでプライベートチャンネルスキャン機能を使用できます。

[プログラム]で操作する場合は、設定モードで、[プログラム]の割り当て(P.4-16)を「スキャン」に設定してください。

3 そのほかの機能について

■ プライベートチャンネルスキャン機能(つづき)

【プライベートチャンネルスキャンを解除するには】

[CH/設定]、[機能/]、[プログラム]、または[サイド]を操作します。

※ 電源を入れなおしても、解除されません。

【プライベートチャンネルスキャン動作について】

◎ スキャン中は、通話チャンネルで待受中、2秒ごとにプライベートチャンネルをスキャンします。

スキャン中に緊急呼び出しをすると、スキャン動作を解除して、通話チャンネルで緊急信号を送信します。

◎ 電波を受信中は、設定モードのスキャン停止時間(P.4-18)とスキャン再開時間(P.4-18)の設定にしたがってスキャンします。

このとき、緊急呼び出しをするとスキャン動作が解除されます。

◎ プライベートチャンネルに上空用チャンネル(S1～S15)が設定(P.4-20)されている場合は、上空用チャンネルをプライベートチャンネルスキャンの対象にできます。

◎ スキャン中に[PTT]を押すと、通話チャンネルで送信します。

3 そのほかの機能について

■メモリーチャンネルスキャン機能

よく利用する通話チャンネルと、設定モードで設定したチャンネルを順次切り替える機能です。

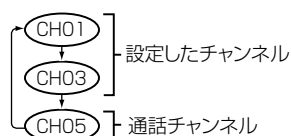
※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

下記の操作をする前に、設定モードで[サイド]の割り当て(P.4-15)を「スキャン」に設定し、スキャン機能の設定(P.4-17)を「メモリーCH」に設定してください。

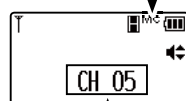
※メモリーチャンネルスキャンをお使いになる前に、「メモリーチャンネル毎のスキャン設定」(P.4-2)でスキャン対象チャンネルを設定してください。

※サブチャンネルPTT機能(P.3-5)を使用している場合、メモリーチャンネルスキャン機能は使用できません。

メモリーチャンネルスキャンのイメージ



スキャン中表示



切り替わる

【操作のしかた】

「スキャン」を割り当てた[サイド]を操作すると、「ピッ」と鳴ります。

- メモリーチャンネルスキャンを開始します。

※設定したチャンネルが1件だけで、その番号と同じ通話チャンネル番号を選択しているときは、スキャンしません。

ご参考に

[サイド]の代わりに[プログラム]を操作することでメモリーチャンネルスキャン機能を使用できます。

[プログラム]で操作する場合は、設定モードで、[プログラム]の割り当て(P.4-16)を「スキャン」に設定してください。

【メモリーチャンネルスキャンを解除するには】

[CH/設定]、[機能/]、[プログラム]、または[サイド]を操作します。

※電源を入れなおしても、解除されません。

【メモリーチャンネルスキャン動作について】

◎スキャン中に緊急呼び出しをすると、スキャン動作を解除して、通話チャンネルで緊急信号を送信します。

◎電波を受信中は、設定モードの「スキャン停止時間」(P.4-18)と「スキャン再開時間」(P.4-18)の設定にしたがってスキャンします。

このとき、緊急呼び出しをするとスキャン動作が解除されます。

◎スキャン中に[PTT]を押すと、通話チャンネルで送信します。

3 そのほかの機能について

■ワンタッチアンサー機能

あらかじめ録音した音声を、[サイド]の操作により、送信する機能です。

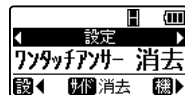
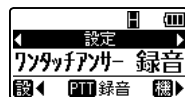
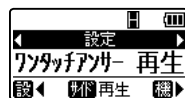
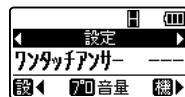
※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

下記の操作をする前に、設定モードで、[サイド]の割り当て(P.4-15)を「ワンタッチアンサー」に設定してください。

※サブチャンネルPTT機能(P.3-5)を使用している場合、ワンタッチアンサー機能は使用できません。

【録音のしかた】

1. 設定モードで、[CH/設定]、または[機能/- 2. [▲]を1回押して、「ワンタッチアンサー録音」を選択します。
- 3. [PTT]を押しつづけると録音します。
 - ※ [PTT]をはなすと録音が停止します。
 - ※ 録音できる時間は10秒です。
 - [PTT]を押しつづけていても10秒後に録音が停止します。
 - ※ 録音データがある場合は、上書きします。



【録音した音声を再生(確認)する】

1. 設定モードで、[CH/設定]、または[機能/- 2. [サイド]を押すと録音された音声が再生されます。

【録音した音声を消去するには】

1. 設定モードで、[CH/設定]、または[機能/- 2. [▲]を2回押して、「ワンタッチアンサー消去」を選択します。
- 3. [サイド]を押します。
 - 「消去中」が表示され、録音された音声が消去されます。

【操作のしかた】

待受状態で「ワンタッチアンサー」を割り当てた[サイド]の操作をすると、録音した音声を表示されている通話チャンネルで送信します。

ご参考に

[サイド]の代わりに[プログラム]を操作することでワンタッチアンサー機能を使用できます。

[プログラム]で操作する場合は、設定モードで、[プログラム]の割り当て(P.4-16)を「ワンタッチアンサー」に設定してください。

3 そのほかの機能について

■モニター機能

モニター機能は、次のような場合に使用します。

- ◎ 受信音がない状態で「ザー」という音を聞きながら音量を調整するとき
- ◎ ユーザーコード、相手局番号、グループ番号が異なる他局への通話を聞くととき
 - ※ 他局が秘話機能を使用している場合は、秘話処理された電子音だけが聞こえます。
- ※ サブチャンネルPTT機能(P.3-5)を使用している場合、モニター機能は使用できません。

【操作のしかた】

[サイド]を押しているあいだ、有効になります。

※ 工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードで、[サイド]の割り当て「長押」(P.4-15)を「モニタ」に設定してください。

ご参考に

[サイド]の代わりに[プログラム]を操作することでモニター機能を使用できます。

[プログラム]で操作する場合は、設定モードで、[プログラム]の割り当て「長押」(P.4-16)を「モニタ」に設定してください。

■ポケットビーブ機能

下記の呼び出しを受けたとき、ビーブ音で通知する機能です。
このときのビーブ音は、いずれかのキーを操作すると、停止できます。

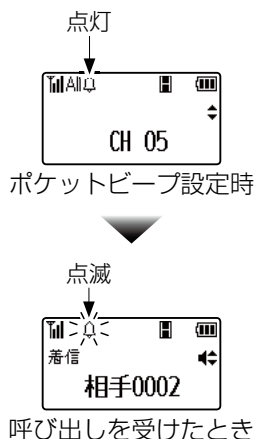
※ サブチャンネルPTT機能(P.3-5)を使用している場合、
ポケットビーブ機能は使用できません。

【ユーザーコード、または個別呼び出しによる呼び出しを受けたとき】

「」の点滅とビーブ音で通知します。

※ 個別呼び出しを受けたときは、ポケットビーブの設定に関わらず、「」が点滅します。

※ 工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。
設定モードから設定を変更できます。(P.4-8)



■ポケットビーブメロディー機能

ポケットビーブ機能で呼び出しを受けたときの呼び出し音をメロディー(9種類)に設定できます。

このときに鳴るメロディーは、いずれかのキー(「」/「」、以外)を操作すると、停止できます。

※ 工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-8)

※ 呼び出しを受けたときの表示は、ポケットビーブ機能と同じです。

3 そのほかの機能について

■着信履歴機能

個別呼び出し、およびグループ呼び出しを受けたとき、相手局番号(相手の自局番号)やグループ番号が記憶されます。

記憶された相手局番号は、呼び出しに利用できます。

※工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-13)

【着信履歴の確認と呼び出しについて】

1. 右図のように、「」が表示されるまで、[機能/]を押します。

※「 1」が表示されないときは、着信履歴がありません。

※着信履歴が2件以上の場合、[CH/設定]を短く押し、[▲]/[▼]を繰り返し押すと、確認できます。

※「 1」から順に最新の履歴となるように記憶します。

2. 呼び出す相手、またはグループの番号を表示した状態で、[PTT]を押しながら、相手に呼びかけます。

- [状態表示]ランプが赤色に点灯します。

1件目着信履歴

相手局番号履歴



【着信履歴の内容や件数に異常があると感じたときは】

設定モードの着信履歴消去(P.4-13)から履歴を消去してください。

それでも改善しない場合は、すべての設定を初期化(P.4-30)してください。

【着信履歴件数と履歴の消去について】

※最大10件の着信履歴を記憶できます。

10件を超えると、古い着信履歴から削除されます。

※全局呼び出しの場合は、着信履歴に記憶されません。

※着信履歴の消去(P.4-13)は、設定モードからできます。

3 そのほかの機能について

■自動音量機能

イヤホン(別売品)を接続したとき、周囲の騒音に合わせて、イヤホンの音声レベル(操作音を除く)を自動で上げる機能です。

※ 工場出荷時や全設定初期化時の状態では、使用できません。

設定モードから設定を変更できます。(P.4-21)

※ 下記を設定時、自動音量機能は動作しません。

- ◎ 音量が「0」のとき
- ◎ VOX機能★使用時
- ◎ 内蔵スピーカーで使用时
- ◎ すべてのキー操作をロックしているとき
- ◎ 設定モードの「Bluetooth」を「ON」に設定し、「Bluetooth ボリューム連動」(P.4-28)を「固定」に設定したとき(Bluetooth搭載版のみ)
- ◎ 設定モードの「Bluetooth」「ON」に設定し、「Bluetooth AF出力切り替え」(P.4-29)を「HS+OP」に設定したとき(Bluetooth搭載版のみ)
- ★ VOX機能については、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。

■設定項目一覧

各機能は、運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

※□(背景色あり)の項目は初期設定値のときに表示される項目です。

設定値を変更すると、□(背景色なし)の項目が表示されます。

機能名称	本体表示		初期 設定値	参照
	ガイド	メッセージ		
① ポケットビープ	設定	ホケットビープ	OFF	P.4-8
② ポケットビープ メロディー	ホケットビープ	メロディ	1	P.4-8
③ 送信モニタービープ	設定	送信ビープ	ON	P.4-9
④ 終話信号受信ビープ	設定	終話ビープ	ON	P.4-9
⑤ ビープ音量設定	設定	ビープ音量	連動	P.4-9
⑥ 音量固定時レベル	ビープ音量	固定時レベル	15	P.4-9
⑦ ユーザーコード	設定	ユーザーコード	共通	P.4-9
⑧ 秘話	設定	秘話	共通	P.4-10
⑨ チャンネル番号音声案内	設定	音声案内	OFF	P.4-10
⑩ マイクゲイン	設定	マイクゲイン	0	P.4-10
⑪ VOX	設定	VOX	OFF	P.4-10
⑫ VOX感度	VOX	VOX 感度	3	P.4-11
⑬ VOXディレイ	VOX	VOX デレイ	1.5秒	P.4-11
⑭ 個別呼び出し設定	設定	個別呼出	OFF	P.4-11
⑮ 自局番号設定	個別呼出	自局番号	0001	P.4-11
⑯ 相手局番号表示	個別呼出	相手局表示	ON	P.4-12
⑰ グループ番号表示	個別呼出	グループ表示	OFF	P.4-12
⑱ メンバー指定	リスト	グループ	01	P.4-12
⑲ 着信履歴	個別呼出	着歴表示	OFF	P.4-13
⑳ 終話後表示	個別呼出	終話表示	話前	P.4-13
㉑ 着信履歴消去	個別呼出	着歴消去	——(OFF)	P.4-13
㉒ ローンワーカー機能	設定	ローンカー	OFF	P.4-14
㉓ 音声録音機能	設定	録音再生	OFF	P.4-14
㉔ 音声録音消去	録音再生	録音消去	——(OFF)	P.4-14
㉕ プライベートチャンネル	設定	プライベートCH	ON	P.4-14
㉖ プライベート チャンネル番号	プライベートCH	CH	CH15 (CH呼出)	P.4-15

4 各種機能の設定

■ 設定項目一覧(つづき)

各機能は、運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

※□(背景色あり)の項目は初期設定値のときに表示される項目です。

設定値を変更すると、□(背景色なし)の項目が表示されます。

機能名称	本体表示		初期 設定値	参照
	ガイド	メッセージ		
27 サイドキーの割り当て	設定サイドキー	短押	OFF	P.4-15
	設定サイドキー	長押		
28 プログラムキーの 割り当て	設定プログラムキー	短押	OFF	P.4-16
	設定プログラムキー	長押		
29 スキャン機能	設定	スキャン	プライベート	P.4-17
30 メモリーチャンネル毎 のスキャン設定	スキャン	CH	01	P.4-17
31 スキャン停止時間	スキャン	停止時間	10秒	P.4-18
32 スキャン再開時間	スキャン	再開時間	5秒	P.4-18
33 通話後スキャン動作	スキャン	終話動作	解除	P.4-18
34 スキャン一時スキップ 機能	スキャン	一時スキップ	5分	P.4-18
35 ワンタッチアンサー 機能	設定	ワンタッチアンサー	——(OFF)	P.4-19
36 一時音量切り替え	設定	一時音量	-5	P.4-19
37 パワーセーブ	設定	パワーセーブ	OFF	P.4-19
38 キーロック時の音量操作	設定	ロック動作	音量可	P.4-19
39 オートキーロック	設定	オートキーロック	OFF	P.4-20
40 運用チャンネル	設定	運用チャンネル	陸上	P.4-20
41 LCDコントラスト	設定	コントラスト	12	P.4-20
42 バックライト設定	設定	バックライト	AUTO	P.4-20
43 バックライト輝度	設定	輝度	明るい	P.4-20
44 ノイズキャンセル	設定	ノイズキャンセル	OFF	P.4-20
45 イヤホン設定	設定	イヤホン設定	ON	P.4-21
46 自動音量機能	設定	自動音量	OFF	P.4-21
47 送信イコライザー	設定イコライザー	送信	OFF	P.4-21
48 受信イコライザー	設定イコライザー	受信	OFF	P.4-22

4 各種機能の設定

■ 設定項目一覧(つづき)

各機能は、運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

※□(背景色あり)の項目は初期設定値のときに表示される項目です。

設定値を変更すると、□(背景色なし)の項目が表示されます。

機能名称	本体表示		初期 設定値	参照
	ガイド	メッセージ		
49 サブチャンネルPTT	設定	サブチャンネル	OFF	P.4-22
50 サブチャンネル1設定	サブチャンネル	サブ 1	CH01	P.4-22
51 サブチャンネル2設定	サブチャンネル	サブ 2	CH02	P.4-23
52 メインPTTの チャンネル切り替え	サブチャンネル 操作	メイン PTT	固定	P.4-23
53 サブPTT動作	サブチャンネル 操作	サブ PTT	短押	P.4-23
54 VS-3サイドキー操作★	サブチャンネル 操作	VS-3 対応	OFF	P.4-24
55 ビープ設定 メインチャンネル	サブチャンネル ビープ	メイン CH	OFF	P.4-24
56 ビープ設定 サブチャンネル1	サブチャンネル ビープ	サブ 1	OFF	P.4-24
57 ビープ設定 サブチャンネル2	サブチャンネル ビープ	サブ 2	OFF	P.4-24
58 送信後スキャン 再開時間	サブチャンネル スキャン	送信後	終話	P.4-25
59 受信後スキャン 再開時間	サブチャンネル スキャン	受信後	終話	P.4-25
60 操作後スキャン 再開時間	サブチャンネル スキャン	操作後	10秒	P.4-25
61 サーチタイマー設定 メイン⇒サブ1	サブチャンネル タイマー	メイン→サブ 1	OFF	P.4-26
62 サーチタイマー設定 サブ1⇒メイン	サブチャンネル タイマー	サブ 1 →メイン	OFF	P.4-26
63 サーチタイマー設定 メイン⇒サブ2	サブチャンネル タイマー	メイン→サブ 2	OFF	P.4-26
64 サーチタイマー設定 サブ2⇒メイン	サブチャンネル タイマー	サブ 2 →メイン	OFF	P.4-27

★Bluetooth搭載版のみ

4 各種機能の設定

■ 設定項目一覧(つづき)

各機能は、運用状況に応じて、設定モードからお好みの設定に変更できます。

※□(背景色あり)の項目は初期設定値のときに表示される項目です。

設定値を変更すると、□(背景色なし)の項目が表示されます。

機能名称	本体表示		初期 設定値	参照
	ガイド	メッセージ		
65 Bluetooth★	設定	Bluetooth	OFF	P.4-27
66 Bluetooth 検索★	Bluetooth デバイス	検索	——(OFF)	P.4-27
67 Bluetooth 機器一覧★	ペアリングリスト	-	機器なし	P.4-27
68 Bluetooth 登録解除★	登録解除	-	機器なし	P.4-28
69 Bluetooth ボリューム連動★	Bluetooth	音量	連動	P.4-28
70 Bluetooth 音声ボリューム★	Bluetooth	音声 VOL	32	P.4-28
71 Bluetooth パワーセーブ★	Bluetooth	パワーセーブ	OFF	P.4-28
72 Bluetooth ワンタッチPTT★	Bluetooth	ワンタッチ PTT	OFF	P.4-29
73 Bluetooth PTT&マイク切り替え★	Bluetooth	PTT&MIC	HS+OP	P.4-29
74 Bluetooth AF出力切り替え★	Bluetooth	AF 切替	HS	P.4-29
75 Bluetooth マイクLVオフセット★	Bluetooth	マイク LV オフセット	0	P.4-30
76 Bluetooth AF LVオフセット★	Bluetooth	AF LV オフセット	8	P.4-30
77 Bluetooth 初期化★	Bluetooth	初期化	NO	P.4-30
78 全設定初期化	設定	リセット	NO	P.4-30

★Bluetooth搭載版のみ

4 各種機能の設定

■設定モードに移行するには

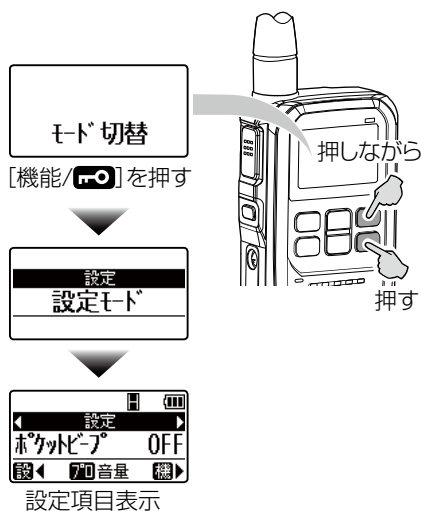
【操作のしかた】

1. 本製品の電源を切った状態で、[機能/🔑]を押しながら、「モード切替」が表示されるまで[🔋]を押します。

※「モード切替」が表示されなかったときは、電源を切り、操作をやり直してください。

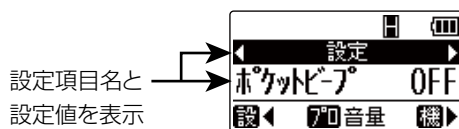
2. 「モード切替」が表示されたらすぐに、[機能/🔑]を押します。

- 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」が表示されたあと、「ポケットビープ」を表示すれば、設定モードに移行しています。

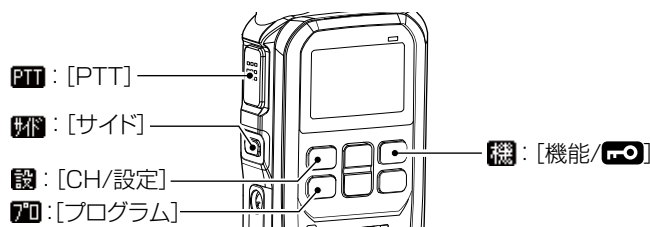


4 各種機能の設定

■画面下部の表示と実行



設定モード時、画面下部には、対応するキーに割り当てられている操作が表示されます。操作するときは、下図のように対応するキーを押します。



- ◀ : 前の設定項目へ移動します。
- ▶ : 次の設定項目へ移動します。
- 音量 : 音量調節の画面へ移動します。
(P.4-7)
- 戻る : 前の画面に戻ります。
- 桁移動 : 桁編集の画面へ移動します。
- 桁 : 編集する桁を1つ右へ移動します。
- リセット : 設定前の状態に戻ります。
- 決定 : 設定した値に確定します。
- グループ : 表示されているグループ番号をメンバー指定します。
- 消去 : 保存されている内容を消去します。
- 追加 : 表示されているチャンネルをスキャンの対象にします。

- 削除 : 設定している内容を取り消します。
- 再生 : 保存されている音声を再生します。
- 録音 : キーを押しているあいだ、音声を録音します。
- 初期値 : 設定している値を初期値に変更します。
- 検索 : 接続する機器を検索します。
- 中断 : 動作している内容を中断します。
- 接続 : 表示されている機器と接続します。
- 解除 : 登録している機器を解除します。
- 実行 : 設定内容の初期化を実行します。

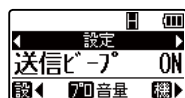
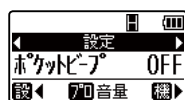
4 各種機能の設定

■設定のしかた

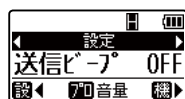
設定モードに移行後、下記の手順で各機能の設定を変更できます。

【操作のしかた】

1. [CH/設定]、または[機能/]を短く押して、設定項目(①～⑦⑧)を選択します。
2. 目的の機能名称で、[▼]/[▲]を押します。
 - 設定値が切り替わります。
 - ※ ほかの機能も変更するときは、手順1と2の操作を繰り返します。
3. [PTT]を押します。
 - 選択した設定値が確定され、運用できる状態になります。
 - ※ 設定値を変更後に電源を切った場合でも、設定値が確定されます。
 - ※ 設定モードを解除するまで通話できません。



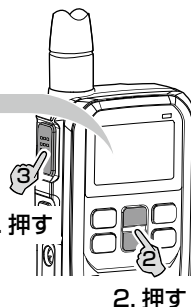
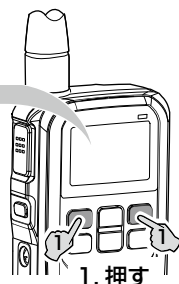
1. 設定項目が切り替わる



2. 設定値が切り替わる



3. 設定値を確定する



■設定モードの音量調整について

設定モードに移行後、下記の手順で音量を調整できます。

- ※ 設定値の編集、動作中などは、音量を変更できません。

【操作のしかた】

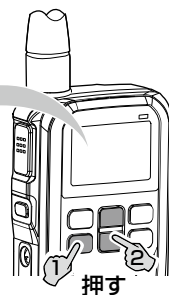
1. [プログラム]を押します。
2. [▼]/[▲]を押します。
 - 音量を調節します。
3. [プログラム]を押します。
 - 設定した音量を確定し、設定モードに戻ります。



1. [プログラム]を押す



2. 音量を調節する



4 各種機能の設定

■設定項目について

操作については、4-7ページをご覧ください。

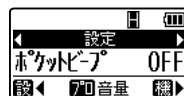
① ポケットビープ (初期設定値：OFF)

ユーザーコードによる呼び出し、または個別呼び出し機能による個別呼び出しを受けたときの呼び出し音やメロディーを設定します。

- OFF : ポケットビープを使用しない
- 30回 : 「トルルル」と30回連続で鳴る
- 3回 : 「トルルル」と3回連続で鳴る
- 1分 : 「トルルル」と3回連続で鳴ったあと、1分ごとに1回鳴る
- 連続 : 「トルルル」と3回連続で鳴ったあと、2秒ごとに1回鳴る
- PIー : 「ピー」と1回鳴る
- PPP : 「ピピピ」と1回鳴る
- メロディ : 「ポケットビープメロディー」(②)で設定したメロディーが鳴る

※「サブチャンネルPTT」(④9)(P.4-22)が「OFF」以外に設定したときは、ポケットビープ機能が無効になり、項目の表示もされません。

※グループ、または全局呼び出しを受けたときは、「OFF」以外に設定されていても鳴りません。

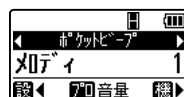


② ポケットビープメロディー (初期設定値：1)

ポケットビープ着信時のメロディーを設定します。

- 選択肢 : 1～9

※「ポケットビープ」(①)を「メロディ」に設定したとき、表示されず。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

③ 送信モニタービーブ (初期設定値：ON)

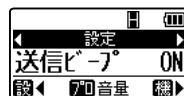
[PTT]を押したときのビーブ音を設定します。

- OFF : ビーブ音(ピッ)が鳴らない
- ON : ビーブ音(ピッ)が鳴る

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)が「OFF」以外に設定したときは、送信モニタービーブ機能が無効になり、項目の表示もされません。

※送信できない場合など、禁止されている操作は、送信モニタービーブの設定に関係なく、音色の異なるビーブ音が鳴ります。

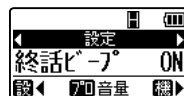
※VOX機能による送信時は、鳴りません。



④ 終話信号受信ビーブ (初期設定値：ON)

通話相手の終話信号を受信したときのビーブ音を設定します。

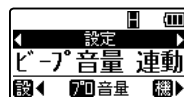
- OFF : ビーブ音(ピッ)が鳴らない
- ON : ビーブ音(ピッ)が鳴る



⑤ ビーブ音量設定 (初期設定値：連動)

ポケットビーブが動作したときや、キー操作をしたときなどの、ビーブ音量を設定します。

- 連動 : 無線機本体で調整した音量に連動する
- 固定 : 「音量固定時レベル」(6)で設定された音量に固定する

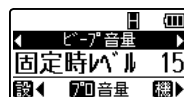


⑥ 音量固定時レベル (初期設定値：15)

「ビーブ音量設定」(5)を「固定」に設定したときの、ビーブ音の音量を設定します。

- 設定範囲：0～32

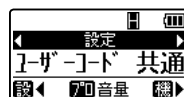
※「ビーブ音量設定」(5)を「固定」に設定したとき、表示されます。



⑦ ユーザーコード (初期設定値：共通)

ユーザーコードについて設定します。

- CH毎 : 通話チャンネルごとに異なるユーザーコードを使用する
- 共通 : 通話チャンネル共通のユーザーコードを使用する



4 各種機能の設定

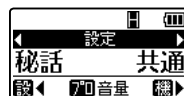
■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

⑧ 秘話 (初期設定値：共通)

秘話キーについて設定します。

- CH毎 : 通話チャンネルごとに異なる秘話キーを使用する
- 共通 : 通話チャンネル共通の秘話キーを使用する



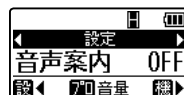
⑨ チャンネル番号音声案内 (初期設定値：OFF)

通話チャンネル番号を読み上げる機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 電源を入れたときや、チャンネルを変更したときに、選択された通話チャンネル番号を読み上げる

※「呼出CH」(呼出用チャンネル:CH15)選択時は、「呼び出し」と読み上げます。

※「CH S1～CH S15」(上空チャンネル)選択時は、「上空1」(例:CH S1)と読み上げます。

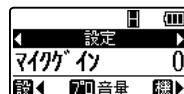


⑩ マイクゲイン (初期設定値：0)

マイク感度を設定します。

- 設定範囲：-15(低)～0(中)～9(高)(3dB刻み)

※感度を上げる(数値を大きくする)と比較的小さな声でも通信相手に聞こえやすくなりますが、周りの音も聞こえやすくなります。



⑪ VOX (初期設定値：OFF)

VOX機能を設定します。

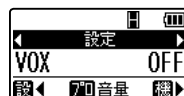
「内部」、「外部」、「Bluetooth」★のいずれかに設定すると、マイクに向かって呼びかけるだけで、送信できます。

- OFF : VOX機能を使用しない
- 内部 : 無線機本体のマイクによるVOX送信ができる
- 外部 : 外部ヘッドセットのマイクによるVOX送信ができる
- Bluetooth★

: BluetoothのマイクによるVOX送信ができる

※「サブチャンネルPTT」(④)(P.4-22)を「OFF」以外に設定したときは、VOX機能が無効になり、VOX関連項目(⑪～⑬)の表示もされません。

★Bluetooth機能搭載版のみ



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

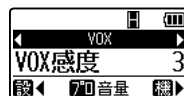
12 VOX感度 (初期設定値：3)

VOX感度を設定します。

- 設定範囲：1(低)～3(中)～5(高)

※「VOX」(11)(P.4-10)を「OFF」以外に設定したとき、表示されます。

※VOX感度を上げる(数値を大きくする)と、比較的小さな声でも送信できますが、周りの雑音でも送信しやすくなりますので、ご注意ください。



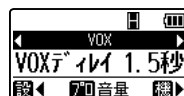
13 VOXディレイ (初期設定値：1.5秒)

VOX使用時、送信停止までの遅延時間を設定します。

話している途中で受信に切り替わる場合は、長く設定してください。

- 設定範囲：0.5(短)～1.5(中)～3.0(長)

※「VOX」(11)(P.4-10)を「OFF」以外に設定したとき、表示されます。

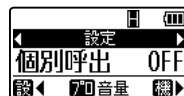


14 個別呼び出し設定 (初期設定値：OFF)

同じ通話チャンネルを使用する相手のうち、通話したい相手だけを呼び出す機能を設定します。

- OFF：使用しない
- ON：使用する

※無線機本体のパワーセーブ機能と併用できないため、「ON」に設定すると、「パワーセーブ」(57)(P.4-19)は、自動的に「OFF」になり、変更できません。



15 自局番号設定 (初期設定値：0001)

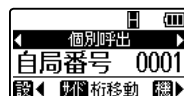
個別呼び出しを受けるための自局番号を設定します。

- 設定範囲：0001～9999

※「個別呼び出し設定」(14)を「ON」に設定したとき、表示されます。

【編集できる桁を変更するには】

1. [サイド]を押します。
 - ・上位1桁目が点滅します。
2. 上位2桁目以降は、[CH/設定]を繰り返し押します。
3. 編集を終了するときは、[機能/移動]を短く押します。
 - ・桁の点滅が点灯に変わります。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

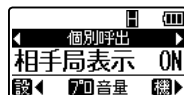
操作については、4-7ページをご覧ください。

⑩ 相手局番号表示 (初期設定値：ON)

個別呼び出しをする相手の自局番号を選択する項目の設定します。

- OFF : 表示しない
- ON : 表示する

※「個別呼び出し設定」(⑭)(P.4-11)を「ON」に設定したとき、表示されます。

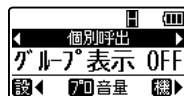


⑪ グループ番号表示 (初期設定値：OFF)

グループ呼び出しをする相手のグループ番号を選択する項目の設定します。

- OFF : 表示しない
- ON : 表示する

※「個別呼び出し設定」(⑭)(P.4-11)を「ON」に設定したとき、表示されます。



⑫ メンバー指定 (初期設定値：すべてメンバー指定しない)

メンバー指定(点灯)したグループ番号(01～10)でグループ呼び出しを受けると着信します。

- 点灯 : メンバー指定する
- 消灯 : メンバー指定しない

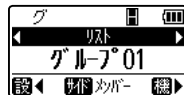
※「個別呼び出し設定」(⑭)(P.4-11)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※ 設定は、[サイド]を押すごとに、切り替わります。

※ 複数のグループ番号をメンバーに指定できます。

[▼]/[▲]を押して、指定するグループ番号を選択します。

※ メンバー指定をしていないグループ番号(消灯)でグループ呼び出しを受けても、着信しません。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

19 着信履歴 (初期設定値：OFF)

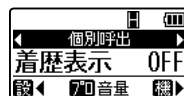
個別呼び出し、またはグループ呼び出しを受けたとき、相手局番号やグループ番号を着信履歴(P.3-16)として表示するかどうかを設定します。

- OFF : 表示しない
- ON : 表示する

※「個別呼び出し設定」(14)(P.4-11)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)が「OFF」以外に設定したときは、着信履歴機能が無効になり、項目の表示もされません。

※着信履歴は、「着歴表示 OFF」のときも記憶されます。



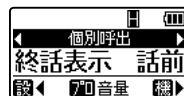
20 終話後表示 (初期設定値：話前)

通話を終了後、待受状態での表示内容を設定します。

- 話前 : 通話前の表示に戻る
- CH : 通話チャンネル表示に戻る

※「個別呼び出し設定」(14)(P.4-11)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※個別呼び出しを受けて応答しなかった場合は、相手局番号が点滅表示されます。(P.2-9)



21 着信履歴消去 (初期設定値：——)

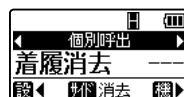
自局番号やグループ番号の変更により、着信履歴を個別呼び出しなどに利用できなくなった場合、その履歴を消去します。

- —— : 着信履歴を消去しない
- 消去 : [サイド]を押すと、着信履歴を消去する

※「個別呼び出し設定」(14)(P.4-11)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)が「OFF」以外に設定したときは、着信履歴消去機能が無効になり、項目の表示もされません。

※「消去」を選択後、[サイド]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、消去しないと認識され、「——」に切り替わります。



4 各種機能の設定

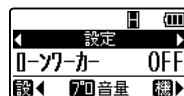
■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

22 ローンワーカー機能 (初期設定値：OFF)

本製品を一定時間操作しなかった場合、自動的に緊急呼び出し(エマージェンシー)をするローンワーカー機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

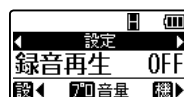


23 音声録音機能 (初期設定値：OFF)

自局宛の通話を録音する機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「サブチャンネルPTT」(49) (P.4-22)が「OFF」以外に設定したときは、録音機能が無効になり、項目の表示もされません。



24 音声録音消去 (初期設定値：——)

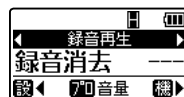
録音した音声の履歴を消去します。

- —— : 録音履歴を消去しない
- 消去 : [サイド] 押すと、録音履歴を消去する

※「音声録音機能」(23)を「ON」に設定したとき、表示されます。

※「消去」を選択後、[サイド]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、消去しないと認識され、「——」に切り替わります。

※「サブチャンネルPTT」(49) (P.4-22)が「OFF」以外に設定したときは、録音機能が無効になり、項目の表示もされません。

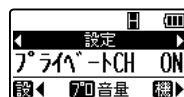


25 プライベートチャンネル (初期設定値：ON)

プライベートチャンネル機能(P.3-11)を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「ON」に設定し、「プログラムキーの割り当て」(28) (P.4-16)を「プライベート」に設定すると、[プログラム]を短く押すことで、プライベートチャンネルへ切り替えます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

26 プライベートチャンネル番号 (初期設定値：呼出)

通話チャンネル、または上空用チャンネル(S1～S15)からプライベートチャンネルを設定します。

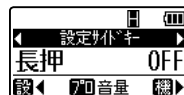
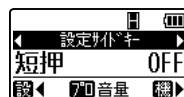
- 設定範囲 : 01～14、呼出、16～82、S1～S15
- ※「プライベートチャンネル」(25)(P.4-14)を「ON」に設定したとき、表示されます。



27 サイドキーの割り当て (初期設定値：OFF)

「サイド」を短く、または長く(約1秒)押したときの動作を設定します。

- OFF : 使用しない
- モニタ★ : モニター機能(P.3-15)を使用する
- CH : 表示を通話チャンネルに切り替える
- スキャン : スキャン機能(P.3-11、P.3-13)を使用する
- ワンタッチアンサー : ワンタッチアンサー機能(P.3-14)を使用する
- 一時スキップ : スキャン一時スキップ機能を使用する
※スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する機能です。
- 録音停止 : 録音の一時停止と再開をする
- 一時音量 : 一時的に音量を変更する
- ワンタッチ再生 : 録音機能で録音した最新の音声を再生する



★「長押」だけに割り当てできる項目です。

※ サブチャンネルPTT機能(P.4-22)を使用している場合、
「サイド」に割り当てた機能は使用できません。

※ 録音機能については、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。

4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

28 プログラムキーの割り当て (初期設定値：OFF)

[プログラム]を短く、または長く(約1秒)押したときの動作を設定します。

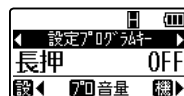
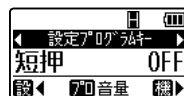
- OFF : 使用しない
- モニタ★¹★² : モニター機能(P.3-15)を使用する
- CH : 表示を通話チャンネルに切り替える
- スキャン★² : スキャン機能(P.3-11、P.3-13)を使用する
- ワンタッチアンサー★² : ワンタッチアンサー機能(P.3-14)を使用する
- 一時スキップ★² : スキャン一時スキップ機能を使用する
※ スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する機能です。
- 録音停止★² : 録音の一時停止と再開をする
- 一時音量 : 一時的に音量を変更する
- ワンタッチ再生★² : 録音機能で録音した最新の音声を再生する
- プライベート★³ : プライベートチャンネル機能(P.3-10)を使用する
- エマージェンシー★¹ : 緊急呼び出し(エマージェンシー)機能(P.3-1)を使用する

★1 「長押」だけに割り当てできる機能です。

★2 サブチャンネルPTT機能(P.4-22)を使用している場合、[プログラム]に割り当てた機能は使用できません。

★3 「短押」だけに割り当てできる機能です。

※ 録音機能については、「簡易取扱説明書」(別紙)をご覧ください。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

29 スキャン機能 (初期設定値：プライベート)

スキャンタイプを設定します。

- プライベート：プライベートチャンネルスキャンを有効にする

※スキャンを開始したときのチャンネルと、
プライベートチャンネルをスキャンします。

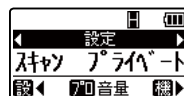
- メモリーCH：メモリーチャンネルスキャンを有効にする
※スキャンを開始したときのチャンネルと、
「メモリーチャンネル毎のスキャン」(30)
(P.4-17)で設定したメモリーチャンネル
をスキャンします。

※「サイドキーの割り当て」(27)(P.4-15)、または「プログラムキーの割り当て」(28)(P.4-16)で、「短押」か「長押」
のいずれかに「スキャン」を設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)が「OFF」以外に設定したときは、スキャン機能が無効になり、スキャン関連項目(29～34)の表示もされません。

※「プライベート」選択時、プライベートチャンネル番号と同じ
通話チャンネル番号で待受しているときは、スキャンしません。

※「メモリーCH」選択時、設定したチャンネルが1件だけの場合、
その通話チャンネル番号と同じ通話チャンネル番号で待受しているときは、スキャンしません。



30 メモリーチャンネル毎のスキャン設定

(初期設定値：スキャン対象外)

スキャンするメモリーチャンネルを設定します。

- 設定範囲：01～14、呼出、16～82、S1～S15

※「スキャン機能」(29)(P.4-17)を「メモリーCH」に設定したとき、表示されます。

※チャンネル選択後、[サイド]を押すと、メモリーチャンネル
スキャンの対象チャンネルに指定/解除が切り替わります。

※メモリーチャンネルスキャンの対象に指定すると、表示部に
「MC」が点灯します。



指定時、「MC」が点灯

4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

③1 スキャン停止時間 (初期設定値：10秒)

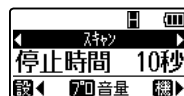
電波を受信中、プライベートチャンネルスキャン、メモリーチャンネルスキャンを停止する時間を設定します。

- 設定範囲 : 2秒～20秒(2秒刻み)、保持

※電波を受信中に、スキャン停止時間(2秒～20秒)が経過すると、スキャンを再開します。

なお、スキャン停止時間(2秒～20秒)が経過する前に電波が途切れたときは、「スキャン再開時間」(③2)設定にしたがってスキャンを再開します。

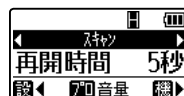
※「保持」を設定したときは、待受状態になるまで、スキャンを停止します。



③2 スキャン再開時間 (初期設定値：5秒)

スキャン停止時間が経過する前に電波が途切れたとき、スキャンを再開するまでの時間を設定します。

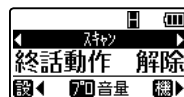
- 即時 : すぐにスキャンを再開
- 1秒～5秒 : 設定時間後にスキャンを再開
- 解除 : 電波が途切れたとき、スキャンを解除



③3 通話後スキャン動作 (初期設定値：解除)

スキャン中、[PTT]を操作したときのスキャン動作を設定します。

- 解除 : スキャンを解除
- 再開 : 数秒後、スキャンを再開



③4 スキャン一時スキップ機能 (初期設定値：5分)

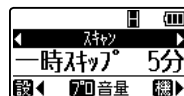
スキャン一時停止時に、そのときのチャンネルを、メモリーチャンネルスキャンの対象から除外する時間を設定します。

- 設定範囲 : 5分～15分(5分刻み)、保持

※「サイドキーの割り当て」(②7)(P.4-15)、または「プログラムキーの割り当て」(②9)(P.4-16)で、「短押」が「長押」のいずれかに「一時スキップ」を設定したとき、表示されます。

※スキャン一時スキップ機能を使用するには、「スキャン機能」(②9)(P.4-17)を「メモリーCH」に設定する必要があります。

※「保持」を選択したときは、メモリーチャンネルスキャンを解除するまで、スキップ指定した通話チャンネルをスキャンから除外します。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

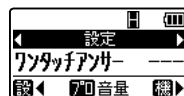
35 ワンタッチアンサー機能 (初期設定値：――)

ワンタッチアンサー機能で送信する音声の録音(最大10秒)、再生、消去をします。

- ――― : 録音された音声がないとき
- 再生 : [サイド]を押すと、録音した音声を確認(再生)する
再生中に[サイド]を押すと、再生を停止します。
- 録音 : [PTT]を押しているあいだだけ、音声を録音する
- 消去 : [サイド]を押すと、録音内容が消去され、「――」が表示される

※「サイドキーの割り当て」(27)(P.4-15)、または「プログラムキーの割り当て」(28)(P.4-16)で、「短押」か「長押」のいずれかに「ワンタッチアンサー」を設定したとき、表示されます。

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)が「OFF」以外に設定したときは、ワンタッチアンサー機能が無効になり、項目の表示もされません。

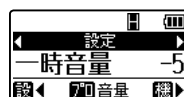


36 一時音量切り替え機能 (初期設定値：-5)

周囲の会話を聞きたいとき、または通話相手の音声がい小さいときなどに、瞬時に音量を上げる、または下げるレベルを設定します。

- 設定範囲：-32～-1、+1～+32

※「サイドキーの割り当て」(27)(P.4-15)で、「短押」か「長押」のいずれかに「一時音量」を設定したとき、表示されます。



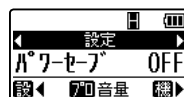
37 パワーセーブ (初期設定値：OFF)

電池の消費を抑えるためのパワーセーブ機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「ON」に設定したときは、待受状態が10秒を超えると、自動的にパワーセーブ機能が動作します。

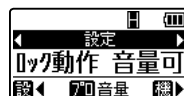
※「個別呼び出し」(14)(P.4-11)が「ON」、または「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)が「OFF」以外に設定したときは、パワーセーブ機能が無効になり、項目の表示もされません



38 キーロック時の音量操作 (初期設定値：音量可)

ロック機能動作中の音量調整について設定します。

- 音量可 : 音量操作を有効にする
- 全キー : 音量操作を無効にする



4 各種機能の設定

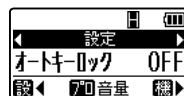
■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

39 オートキーロック (初期設定値：OFF)

一定時間、スイッチやキーが操作されないとき、選択した時間が経過後にそれらの操作を自動的にロックします。

- 選択肢 : OFF、15秒、30秒、1分、3分、5分、10分



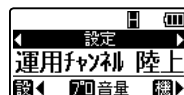
40 運用チャンネル (初期設定値：陸上)

通話チャンネル(陸上/上空/陸空)について設定します。

- 陸上 : 01～14、呼出、16～82
- 上空 : S1～S15
- 陸空 : 01～14、呼出、16～82、S1～S15

※ CH01～CH14、CH15(呼出CH)、CH16～CH82は上空で使用できません。

上空で運用する場合はCH S1～CH S15を使用してください。

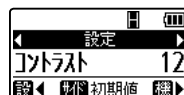


41 LCDコントラスト (初期設定値：12)

表示部のコントラスト(濃淡)を調整します。

- 選択範囲 : 0(淡)～25(濃)

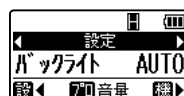
※ [サイド]を押すと、初期設定値に戻ります。



42 バックライト設定 (初期設定値：AUTO)

表示部のバックライト状態を設定します。

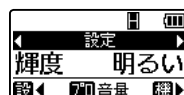
- OFF : 常時消灯
- AUTO : キー操作時バックライト点灯
- ON : 常時点灯



43 バックライト輝度 (初期設定値：明るい)

バックライトの輝度を設定します。

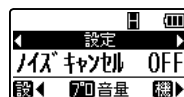
- 選択肢 : 暗い、明るい



44 ノイズキャンセル (初期設定値：OFF)

送信時の音声からノイズ成分を取り除き、音声品質を向上させる機能です。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

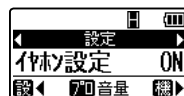
操作については、4-7ページをご覧ください。

④5 イヤホン設定 (初期設定値：ON)

イヤホン(別売品)装着時に過入力を防ぐため、外部AF出力レベルを下げる機能を設定します。

- OFF : 音声レベルを変更しない
- ON : 設定している音量に応じて音声レベルを下げる
※ハンドマイクなどの別売品から出力される音声も、音声レベルが下がります。
無線機のスピーカーから出力される音声は変わりません。

※ 別売品のスピーカーマイクロホン使用時は、「イヤホン設定」を「OFF」に変更してください。

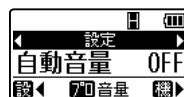


④6 自動音量機能 (初期設定値：OFF)

イヤホン(別売品)を接続したとき、周囲の騒音に合わせて、イヤホンの音声レベル(操作音を除く)を自動で上げる機能です。

- OFF : 自動調整しない
- 小 : 自動調整幅が小さい
- 中 : 自動調整する
- 大 : 自動調整幅が大きい

※ 「イヤホン設定」(④5)を「ON」に設定したとき、表示されます。



④7 送信イコライザー (初期設定値：OFF)

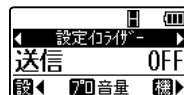
送信時の音質を設定します。

送信側で設定した音声が受信側のスピーカーから出力されます。

- 選択肢 : OFF、フラット、低音強調、中音強調、高音強調、低高強調

※ 「OFF」に設定したときは、送信イコライザー機能は無効になります。

※ 「フラット」に設定したときは、低音、中音、高音が同じ音質で出力されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

48 受信イコライザー (初期設定値：OFF)

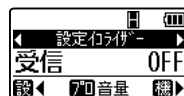
受信時の音質を設定します。

受信音以外に録音時の再生音や音声案内も変更されます。

- 選択肢 : OFF、フラット、低音強調、中音強調、高音強調、低高強調

※「OFF」に設定したときは、受信イコライザー機能は無効になります。

※「フラット」に設定したときは、低音、中音、高音が同じ音質で出力されます。



49 サブチャンネルPTT (初期設定値：OFF)

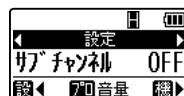
サブチャンネルPTT機能を設定します。

- OFF : サブチャンネルPTT機能を使用しない
- サブ1 : [サイド]を「サブチャンネル1設定」(50)に割り当てた通話チャンネルで使用する
- サブ1+2 : [サイド]を「サブチャンネル1設定」(50)に割り当てた通話チャンネルで使用する
「サブチャンネル2設定」(51)(P.4-23)に割り当てた通話チャンネルで[PTT]での応答に使用する

※「OFF」以外に設定した場合、[サイド]/[プログラム]に割り当てられている機能(P.4-15、P.4-16)が無効になります。

※ 下記項目が「OFF」のとき、項目が表示されます。

「ポケットビーブ」(1)(P.4-8)、「VOX」(11)(P.4-10)、
「着信履歴」(19)(P.4-13)、「音声録音機能」(23)
(P.4-1)、「パワーセーブ」(37)(P.4-19)



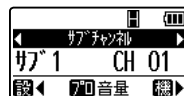
50 サブチャンネル1設定 (初期設定値：CH01)

サブチャンネル1に割り当てた通話チャンネルを設定します。

- 設定範囲 : CH01～CH14、CH15(呼出CH)、
CH16～CH82、CH S1～CH S15

※ [サイド]を押しているあいだ、割り当てたメモリーチャンネルで送信します。

※ 「サブチャンネルPTT」(49)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

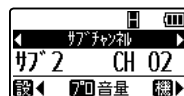
51 サブチャンネル2設定 (初期設定値：CH02)

サブチャンネル2に割り当てる通話チャンネルを設定します。

- 設定範囲 : CH01～CH14、CH15(呼出CH)、
CH16～CH82、CH S1～CH S15

※ 設定した通話チャンネルから呼び出しがあったとき、「メインPTTのチャンネル切り替え」(52)を「応答」に設定することで、[PTT]で応答できます。(サブチャンネル2は、設定した通話チャンネルの相手を直接呼び出しできません)

※ 「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「サブ1+2」に設定したとき、設定項目が表示されます。



52 メインPTTのチャンネル切り替え (初期設定値：固定)

「サブチャンネル1設定」(50)(P.4-22)、「サブチャンネル2設定」(51)に設定した通話チャンネルで受信したとき、[PTT]を押したときの動作を設定します。

- 固定 : [PTT]を押すと、メインチャンネルで送信する
※ サブチャンネルの受信に応答できません。
- 応答 : [PTT]を押すと、サブチャンネルに設定した通話チャンネルで応答する
※ 応答中は、サブチャンネルで受信する前に表示されていた通話チャンネルでは送信されません。

※ 「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



53 サブPTT動作 (初期設定値：短押)

「サブチャンネル1設定」(50)(P.4-22)に設定した通話チャンネルを無線機の[サイド]で送信するときの操作を設定します。

- 短押 : [サイド]を押しつづけると、即時送信する
 - 長押 : [サイド]を押しつづけると、約1秒後に送信する
- ※ 「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

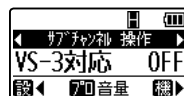
操作については、4-7ページをご覧ください。

54 VS-3サイドキー操作★ (初期設定値：OFF)

VS-3(別売品)の[▶▶] (早送り：[サイド]に対応)を押して、サブチャンネルで送信するかどうかを設定します。

- OFF : VS-3の[▶▶]を押しても、送信しない
- ON : VS-3の[▶▶]を押すと、送信する

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



55 ビープ設定 メインチャンネル (初期設定値：OFF)

無線機に現在表示されている通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

- 選択肢 : OFF、ビープ1-1～ビープ1-3、
ビープ2-1～ビープ2-9、ビープ3-1～ビープ3-3

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

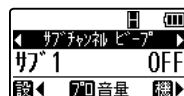


56 ビープ設定 サブチャンネル1 (初期設定値：OFF)

「サブチャンネル1設定」(50)(P.4-22)に設定した通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

- 選択肢 : OFF、ビープ1-1～ビープ1-3、
ビープ2-1～ビープ2-9、ビープ3-1～ビープ3-3

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

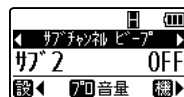


57 ビープ設定 サブチャンネル2 (初期設定値：OFF)

「サブチャンネル2設定」(51)(P.4-23)に設定した通話チャンネルで送受信したときのビープ音を設定します。

- 選択肢 : OFF、ビープ1-1～ビープ1-3、
ビープ2-1～ビープ2-9、ビープ3-1～ビープ3-3

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「サブ1+2」に設定したとき、設定項目が表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

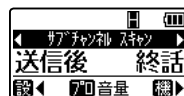
操作については、4-7ページをご覧ください。

58 送信後スキャン再開時間 (初期設定値：終話)

送信後、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。

- 終話 : 送信後、約5秒が経過してから、スキャンを再開する
- 即時 : 送信後、すぐにスキャンを再開する
- 1～5秒(1秒刻み)、
10～20秒(5秒刻み) : 送信後、設定した時間が経過してから、スキャンを再開する

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

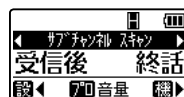


59 受信後スキャン再開時間 (初期設定値：終話)

信号がなくなってから、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。

- 終話 : 信号がなくなると、約5秒が経過してから、スキャンを再開する
- 即時 : 信号がなくなったら、すぐにスキャンを再開する
- 1～5秒(1秒刻み)、
10～20秒(5秒刻み) : 信号がなくなると、設定した時間が経過してから、スキャンを再開する

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。

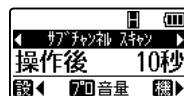


60 操作後スキャン再開時間 (初期設定値：10秒)

チャンネル切り替えなどの操作後、サブチャンネルのスキャンを再開するまでの時間を設定します。

- 選択肢：1秒～5秒、10秒、20秒、30秒

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定したとき、設定項目が表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

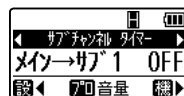
61 サーチタイマー設定 メイン⇒サブ1[秒] (初期設定値：OFF)

メインチャンネルを受信中、「サブチャンネル1設定」(50)
(P.4-22)に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの
時間を設定します。

- 選択肢：OFF、2秒、10秒、30秒

※「OFF」に設定したときは、ほかのチャンネルを監視しないため、
優先度が高いチャンネルとして設定できます。

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定し
たとき、設定項目が表示されます。



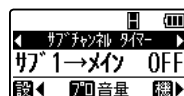
62 サーチタイマー設定 サブ1⇒メイン[秒] (初期設定値：OFF)

「サブチャンネル1設定」に設定した通話チャンネルを受信中、メイ
ンチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢：OFF、2秒、10秒、30秒

※「OFF」に設定したときは、ほかのチャンネルを監視しないため、
優先度が高いチャンネルとして設定できます。

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「OFF」以外に設定し
たとき、設定項目が表示されます。



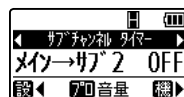
63 サーチタイマー設定 メイン⇒サブ2[秒] (初期設定値：OFF)

メインチャンネルを受信中、「サブチャンネル2設定」(51)
(P.4-23)に設定した通話チャンネルの監視を開始するまでの
時間を設定します。

- 選択肢：OFF、2秒、10秒、30秒

※「OFF」に設定したときは、ほかのチャンネルを監視しないため、
優先度が高いチャンネルとして設定できます。

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「サブ1+2」に設定し
たとき、設定項目が表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

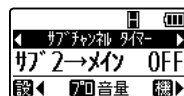
64 サーチタイマー設定 サブ2⇒メイン[秒] (初期設定値：OFF)

「サブチャンネル2設定」に設定した通話チャンネルを受信中、メインチャンネルの監視を開始するまでの時間を設定します。

- 選択肢 : OFF、2秒、10秒、30秒

※「OFF」に設定したときは、ほかのチャンネルを監視しないため、優先度が高いチャンネルとして設定できます。

※「サブチャンネルPTT」(49)(P.4-22)を「サブ1+2」に設定したとき、設定項目が表示されます。



65 Bluetooth★ (初期設定値：OFF)

Bluetooth機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※Bluetooth接続を切断するときは、「OFF」に設定してください。



66 Bluetooth 検索★ (初期設定値：——)

周囲のBluetooth機能対応機器を検索します。

- —— : [サイド]を短く押すと、検索を開始

※周囲にBluetooth機能対応ヘッドセットがないときは、「——」が表示されます。

※「Bluetooth」(65)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



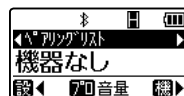
67 Bluetooth 機器一覧★ (初期設定値：機器なし)

過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、接続します。

表示されている機器を接続するには、[サイド]を短く押します。

※過去にペアリングした機器がない場合は、「機器なし」が表示されます。

※「Bluetooth」(65)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

68 Bluetooth 登録解除★ (初期設定値：機器なし)

過去にペアリングされたBluetooth機器一覧を表示し、

Bluetooth機器一覧から登録を解除します。

表示されている機器の登録を解除するには、[サイド]を短く押します。

※削除できる機器がない場合は、「機器なし」が表示されます。

※「Bluetooth」(65)(P.4-27)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



69 Bluetooth ボリューム連動★ (初期設定値：連動)

Bluetooth接続時の音量を設定します。

- 連動 : 無線機本体の音量と連動する
- 固定 : 「Bluetooth 音声ボリューム」(70)で設定された音量に固定する

※「Bluetooth」(65)(P.4-27)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



70 Bluetooth 音声ボリューム★ (初期設定値：32)

「Bluetooth ボリューム連動」(69)を「固定」に設定しているときに、適用される値を設定します。

- 選択範囲 : 1～32

※「Bluetooth」(65)(P.4-27)を「ON」、かつ「Bluetooth ボリューム連動」(69)を「固定」に設定したとき表示されます。



71 Bluetooth パワーセーブ★ (初期設定値：OFF)

接続しているBluetooth機器のパワーセーブ機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「ON」に設定したときは、VS-3(別売品)と接続中に2分間、操作、または音声通信がなかった場合、電池の電流消費を抑えるため、VS-3がパワーセーブ状態になります。

パワーセーブ状態でVS-3の[PTT]を押す、または押しつづけたときは、最初の1回はパワーセーブ解除の操作となり送信状態になりません。

送信するには、VS-3の[PTT]の押しなおしが必要です。



★Bluetooth搭載版のみ

4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

72 Bluetooth ワンタッチPTT★ (初期設定値：OFF)

VS-3の[PTT]を短く押すごとに送信と受信を切り替える機能を設定します。

- OFF : 使用しない
- ON : 使用する

※「ON」に設定したときは、VS-3の[PTT]を押してつける必要がなくなります。

※「Bluetooth」(65)(P.4-27)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



73 Bluetooth PTT&マイク切り替え★ (初期設定値：HS+OP)

Bluetooth接続時、無線機、および別売品の外部機器のPTT操作とマイクを制限するときに設定します。

- HS : Bluetooth機器のPTT操作とマイクだけを有効にする
- HS+OP : Bluetooth機器、および外部機器のPTT操作とマイクを有効にする
※外部機器を接続しない場合、無線機のPTT操作とマイクが有効になります。
- MIC:HS : Bluetooth機器、および無線機、または外部機器のPTT操作を有効にし、Bluetooth機器のマイクだけを有効にする
※外部機器を接続しない場合、無線機のPTT操作が有効になります。

※「Bluetooth」(65)(P.4-27)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



74 Bluetooth AF出力切り替え★ (初期設定値：HS)

Bluetooth接続時、無線機、および別売品の外部機器のスピーカーを制限するときに設定します。

- HS : Bluetooth機器のイヤホンだけを使用する
- HS+OP : Bluetooth機器のイヤホン、および無線機、または外部機器のスピーカーを使用する
※スピーカー、またはイヤホンがある外部機器を接続した場合は、無線機のスピーカーが無効になります。



★Bluetooth搭載版のみ

4 各種機能の設定

■ 設定項目について(つづき)

操作については、4-7ページをご覧ください。

75 Bluetooth マイクレベルオフセット★ (初期設定値：0)

Bluetoothマイクロホンの感度を設定します。

- 設定範囲：-13～15

※「Bluetooth」(65)(P.4-27)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



76 Bluetooth AFレベルオフセット★ (初期設定値：8)

Bluetooth機器の音量を設定します。

- 設定範囲：0～12

※「Bluetooth」(65)(P.4-27)を「ON」に設定したとき、設定項目が表示されます。



77 Bluetooth 初期化★ (初期設定値：NO)

Bluetoothの設定を工場出荷時の状態に戻す(リセットする)ときの操作です。

- NO : 初期化しない
- YES : [サイド]を押すと、リセットする

※初期化したあとは、「Bluetooth」(65)(P.4-27)が「OFF」になります。

※「YES」を選択後、[サイド]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「NO」に切り替わります。

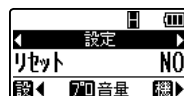


78 全設定初期化 (初期設定値：NO)

すべての設定を工場出荷時の状態に戻す(リセットする)ときの操作です。

- NO : 初期化しない
- YES : [PTT]を押すと、リセットする

※「YES」を選択後、[PTT]を押さない状態で、ほかの設定項目に移動したときは、初期化しないと認識され、「NO」に切り替わります。



本製品を便利にお使いいただくため、下記の別売品をご用意しています。

【別売品についてのご注意】

弊社製別売品は、本製品の性能を十分に発揮できるように設計されていますので、必ず弊社指定の別売品をお使いください。

弊社指定以外の別売品とのご使用が原因で生じる無線機の破損、故障あるいは動作や性能については、保証対象外とさせていただきますので、あらかじめご了承ください。

■ 別売品一覧表

弊社ホームページ <https://www.icom.co.jp/> でも、別売品についてご覧いただけます。別売品については、防塵/防水構造になっていませんので、ご注意ください。

充 電 す る

BC-248★ ¹	: ACアダプター
BC-249★ ²	: 充電クレードル(最大6台連結可能)
BC-228	: ACアダプター(BC-249 連結時)

バ ッ テ リ ー

BP-304★ ¹	: Li-ionバッテリーパック(Min: 1881mAh、Typ: 1900mAh)
----------------------	---

腰 に か け る

MB-127★ ¹	: ベルトクリップ
MBB-6	: 回転式ベルトクリップ

ケーブル関係

OPC-2006LS	: VOX機能用変換ケーブル
OPC-2144	: スリムL型プラグ変換ケーブル
OPC-2375LS	: イヤホン専用変換ケーブル

★¹ 本製品に付属のものと同じです。

★² お使いになる製品によっては、BC-249が同梱されていない場合がありますが、別売品としてもご用意しています。

5 別売品について

■ 別売品一覧表(つづき)

イヤホン関係

EH-14	: オープンイヤー型イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※ AD-137、OPC-2144と組み合わせてお使いになれます。
EH-15	: イヤホン(プラグ: ϕ 2.5mm) ※ EH-15B(黒色) ※ AD-137、OPC-2144と組み合わせてお使いになれます。
SP-16	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 3.5mm) ※ ケーブル長: 約50cm ※ SP-16B(黒色)/SP-16BW(黒色/ロングケーブル: 約1m) ※ AD-137、OPC-2144、OPC-2375LSと組み合わせてお使いになれます。
SP-29	: 耳かけ型イヤホン(プラグ: ϕ 3.5mm) ※ ケーブル長: 約97cm ※ AD-137、OPC-2144、OPC-2375LSと組み合わせてお使いになれます。

変換アダプター/アンテナ関係

AD-137	: イヤホン端子変換アダプター(ジャック: ϕ 3.5mm) ※ 無線機に接続するコネクター部は、防塵/防水構造のため、接続後の無線機はIP54になります。 ※ イヤホン接続部は、非防水です。 ※ SP-16、SP-16B、SP-16BW、SP-29と組み合わせてお使いになれます。
--------	---

スピーカーマイクロホン関係

HM-183LS ^{★3}	: 防水型スピーカーマイクロホン
HM-186	: 小型スピーカーマイクロホン ※ OPC-2144(スリムL型プラグ変換ケーブル)が必要です。
HM-186L	: 小型スピーカーマイクロホン ※ OPC-2144(スリムL型プラグ変換ケーブル)が必要です。
HM-186LS	: 小型スピーカーマイクロホン

別売品のスピーカーマイクロホンを接続する場合は、設定モードで「イヤホン設定」を「OFF」に変更してください。(P.4-21)

★3 IP67の防塵/防水性能があります。

上記、防塵/防水性能は、「IP表記について」(P.viii)をご覧ください。

※別売品を組み合わせて使用したときは、防塵/防水性能の低いものに制限されます。

5 別売品について

■ 別売品一覧表(つづき)

マイクロホン/ヘッドセット関係	
HM-153	: 小型イヤホンマイクロホン ※ OPC-2144(スリムL型プラグ変換ケーブル)が必要です。
HM-153LS	: イヤホンマイクロホン ※ EH-14、EH-15、EH-15Bと組み合わせてお使いになれます。
HM-166	: 小型イヤホンマイクロホン ※ OPC-2144(スリムL型プラグ変換ケーブル)が必要です。
HM-166LS	: 小型イヤホンマイクロホン
HM-238LS	: サブチャンネルPTT機能対応タイピン型マイクロホン 5-6ページと併せてご覧ください。
HS-88A	: ヘッドセット ※ OPC-2277LS、OPC-2359と組み合わせてお使いになれます。
HS-94 ^{*4}	: イヤーフック型ヘッドセット
HS-95 ^{*4}	: ネックアーム型ヘッドセット
HS-97 ^{*4}	: 咽喉マイクロホン
HS-99 ^{*4}	: 耳かけ式イヤホンマイクロホン
HS-102	: イヤホン型ヘッドセット ※ OPC-2277LS、またはOPC-2359が必要です。
OPC-2328	: 通話スイッチ内蔵型接続ケーブル
OPC-2277LS	: 通話スイッチ内蔵型接続ケーブル
OPC-2359	: 通話スイッチ内蔵型接続ケーブル ※ 本製品は、同時通話に対応していません。
VS-3 ^{*5}	: Bluetoothヘッドセット 5-7ページ～5-9ページと併せてご覧ください。

★4 VOX機能を使用する場合はOPC-2006LS(VOX対応変換ケーブル)、通話スイッチを使用する場合はOPC-2328(通話スイッチ内蔵型接続ケーブル)が必要です。

★5 Bluetooth機能搭載版の無線機で利用できる別売品です。

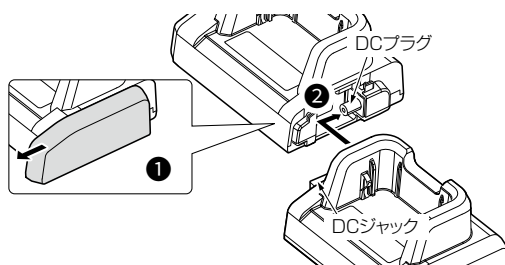
5 別売品について

■ BC-249の連結充電について

別売品のBC-228(ACアダプター)を使用すると、BC-249を6台まで連結して、同時に充電できます。

【連結のしかた】

1. 充電クレードル右側面のカバーを取りはずします。(①)
2. もう1台の充電クレードル(左側面)のカバーを取りはずします。
3. 右側面にあるDCプラグと、もう1台の充電クレードル(左側面)にあるDCジャックを「カチッ」と音がするまで差し込みます。(②)



△警告

下記の事項を守らないと、火災、発熱、感電、故障の原因になります。

◎ BC-249を連結できるのは、6台までです。

※7台以上連結して充電しないでください。

◎ BC-249を複数台連結する場合、電源は必ず連結用ACアダプターBC-228をご使用ください。

※BC-248は、BC-249単体、本製品に直接接続して充電する場合に使用できるACアダプターです。

ご注意

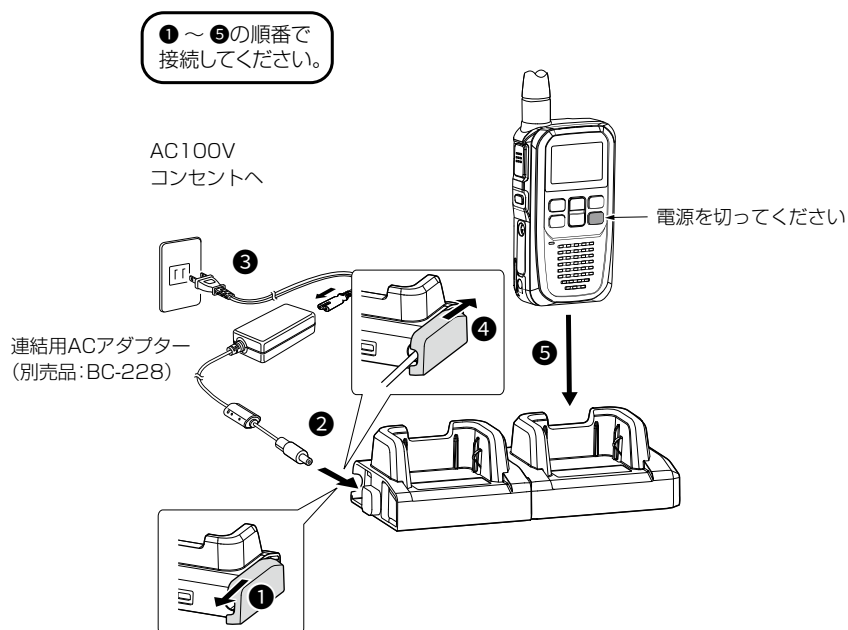
金属や導電性のあるもので充電端子間をショートさせるなど定格電流を超えた場合、充電クレードルの保護装置が動作し、充電できなくなります。

このような場合、ACアダプターを抜き差しすると、充電が再開します。

5 別売品について

■ BC-249の連結充電について(つづき)

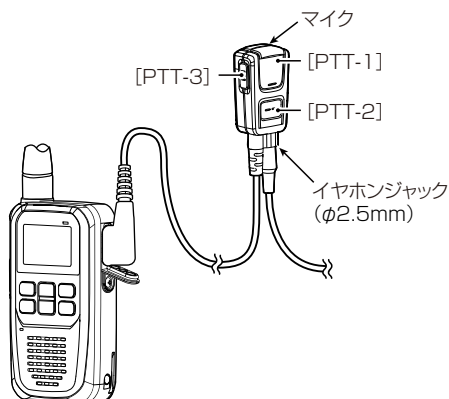
例) BC-249を2台連結した場合



5 別売品について

■ HM-238LS

サブチャンネルPTT機能対応タイピン型マイクロホン



サブチャンネルPTT機能の設定によって、[PTT-1]、[PTT-2]、[PTT-3]を押したときの動作が異なります。

各キーの動作については、下表をご覧ください。

サブチャンネルPTT機能の設定方法については、3-6ページをご覧ください。

※ サブチャンネルPTT機能については、3-5ページをご覧ください。

	サブチャンネルPTT機能を設定したときのボタンの動作		
	「OFF」設定時	「サブ1」設定時	「サブ1+2」設定時
[PTT-1]	無線機に表示されているメモリーチャンネルで送信		
[PTT-2]	無線機に表示されているメモリーチャンネルで送信	サブチャンネル1で設定したチャンネルに送信	
[PTT-3]	[プログラム]の割り当て(P.4-16)で設定した機能		

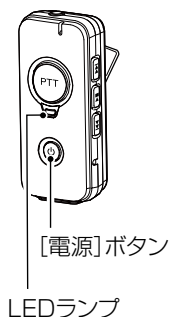
ご注意

HM-238LSを無線機に装着すると、無線機本体のスピーカーから音が出なくなります。
必ずHM-238LSにイヤホン(EH-15/EH-15B)を接続して、使用してください。

5 別売品について

■ VS-3

Bluetoothヘッドセット



【ペアリングのしかた】

ペアリング(接続の認証)とは、Bluetooth機器と本製品(Bluetooth搭載版)をお互いに登録し、接続を許可するためのものです。

一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。★

★設定モードの「Bluetooth 登録解除」(P.4-27)でBluetooth機器の登録を解除した場合は、ペアリングする必要があります。

◎複数のBluetooth機器がある場所では、ペアリングしたいBluetooth機器が検索できないことがあります。

このような場合は、必要なBluetooth機器だけになるように、使用しないBluetooth機器の使用を停止、またはほかのBluetooth機器からはなれるなどしてください。

◎電源を切るなどして、Bluetooth接続を切断した場合は、無線機本体側のスピーカーから音が出るように切り替わります。

無線機本体側の音量ボリュームの上げすぎにご注意ください。

1 VS-3をペアリングモードにする

1. LEDランプが赤/青交互に点滅するまで、VS-3の[電源] ボタンを長く(約6秒)押します。

2. 「ピパ★」と音かして、LEDランプが赤/青交互に点滅したら、ボタンから手をはなします。

※はじめてVS-3をご使用になる場合は、電源を入れるだけでペアリングモードになります。

※ペアリングする機器がない状態が5分つづくと、ペアリングモードが解除され、さらに5分経過すると、電源が切れます。

★VS-3に接続しているイヤホンから音が鳴ります。

5 別売品について

■ VS-3(つづき)

2 Bluetooth機能をONにする

1. 本製品の電源を切った状態で、[機能/- 2. 「モード切替」が表示されたらすぐに、[機能/- 「ピピッ」と鳴って、「設定モード」を表示したあと、「ポケットビープ」を表示すれば、設定モードに移行しています。
- 3. [CH/設定]、または[機能/- 4. [▲]を押します。
- 5. 設定モードのまま、次の手順「3.IC-DPR4からVS-3をペアリングする」を操作します。

3 IC-DPR4からVS-3をペアリングする

- 1.[機能/



- 2.[サイド]を押して、接続する機器を検索します。

- 「検索中」が表示されます。
- 「検索成功」が表示され、1秒後に検索結果を表示します。

※「検索失敗」が表示された場合は、VS-3がペアリングモードになっているか確認して、もう一度、検索してください。

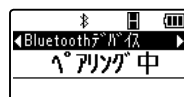


- 3.[▼]/[▲]を押して、接続する機器を選択します。



- 4.[サイド]を押して、機器と接続します。

- 「ペアリング中」、「接続中」、「接続完了」の順に表示されます。
- ※「ペアリング失敗」が表示された場合は、VS-3がペアリングモードになっているか確認して、もう一度、手順③から操作してください。



- 5.[PTT]を押します。

- 設定モードが解除され、待受画面に戻ります。



5 別売品について

■ VS-3(つづき)

【ペアリング後の動作について】

一度ペアリングしたBluetooth機器とは、それ以降ペアリングする必要はありません。
下記の条件を満たしている場合、自動で接続します。

- ◎ 無線機のBluetooth機能が「ON」
- ◎ 無線機が待受状態
- ◎ Bluetooth機器の電源が「ON」
- ◎ 設定モードの「Bluetooth 機器一覧」(P.4-27)にBluetooth機器が登録されている

※ 接続中は「」が点滅します。

接続が完了すると「」が点灯します。

※ 設定モードの「Bluetooth 機器一覧」からも接続できます。

※ 2023年9月現在、動作保証しているBluetooth機器は、VS-3だけです。

Bluetoothの通信においては、周辺機器の影響で通信範囲が著しく変化します。

◎ 電子レンジなどによる妨害

◎ 無線LANによる妨害

このような場合は、ほかのワイヤレス通信を停止させたり、

電子レンジなどの使用を中止したり、周辺機器との距離をはなすなどしてください。

また、Bluetooth機器と本製品の距離をできるだけ近づけると、通信状況が改善することがあります。

■無線機本体

使用周波数範囲	351.03125 ~ 351.10000MHz 351.10625 ~ 351.16250MHz 351.16875 ~ 351.19375MHz 351.20000 ~ 351.38125MHz 351.38750 ~ 351.63125MHz
チャンネル数	82チャンネル+15チャンネル★ ¹
電波型式	F1E/F1D/F1F/F1C
変調方式	4値FSK
使用温度範囲	-20~+60℃
電源電圧	3.7V±10%
消費電流	2.0A以下 (2Wで送信時) 1.5A以下 (1Wで送信時) 1.0A以下 (0.5Wで送信時) 1380mA以下★ ² (Bluetooth OFFで受信時) 480mA以下★ ³ (Bluetooth OFFで受信時) 1400mA以下★ ² (Bluetooth ONで受信時) 500mA以下★ ³ (Bluetooth ONで受信時) 180mA以下 (Bluetooth OFFで待受時) 200mA以下 (Bluetooth ONで待受時)
送信出力	2W★ ⁴ /1W/0.5W(偏差: +20%、-50%)
低周波出力	1W以上★ ² (8Ω、10%歪時) 100mW以上★ ³ (8Ω、10%歪時)
接地方式	マイナス接地
アンテナインピーダンス	50Ω(不平衡)
受信方式	ダブルスーパーヘテロダイン方式
受信感度	-5dBμVemf以下(BER=1×10 ⁻² スタティック時) 0dBμVemf以下(BER=3×10 ⁻² フェージング時)
外形寸法	50(W)×93(H)×27(D)mm(BP-304装着時、突起物を除く)
重量	約148g(BP-304装着時)

★1 上空用チャンネル(S1～S15)

★2 内部スピーカー使用時

★3 外部スピーカー使用時

★4 上空用チャンネルでは使用できません。

※ 定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

6 定格

■BC-249 充電クレードル

入	カ	電	圧	DC5.0V±0.25V(BC-248使用時)		
				DC15V±0.75V(BC-228使用時)		
使	用	温	度	範	囲	0～45℃
重				量		約94g
寸				法		98.0(W)×48.6(H)×70.0(D)mm ※単体時

※ 定格・仕様・外観等は、改良のため予告なく変更する場合があります。

さくいん

記号

[▼]/[▲] 1-2

数字

1局を呼び出すときは 2-6

B

BC-249 x、5-4、5-5

C

[CH/設定] 1-1

P

[PTT] 1-1

あ

相手局番号 2-5

え

エマージェンシー 3-1

き

[機能/

緊急呼び出し 3-1

く

グループ呼び出し 2-1

こ

個別呼び出し 2-1

さ

[サイド] 1-1

サブチャンネルPTT機能 3-5

し

自動音量 3-17

充電時間 xi

使用時間 xi

せ

設定項目 4-1

設定モード 4-5

全局呼び出し 2-1

ち

着信履歴 3-16

つ

通話チャンネル 2-5

通話範囲(無線機本体) iii

て

[

ふ

プライベートチャンネル 3-10

スキャン 3-11

[プログラム] 1-1

へ

ペアリング 5-7

別売品一覧 5-1

ほ

ポケットビープ 3-15

メロディー 3-15

め

メモリーチャンネルスキャン 3-13

メンバー指定 2-4

も

モニター機能 3-15

ゆ

ユーザー登録 v

よ

呼び出しかたの種類 2-1

さくいん

ら

ランプ..... 1-2

ろ

ローンワーカー..... 3-4

わ

ワンタッチアンサー..... 3-14

How the World Communicates

～コミュニケーションで世界をつなぐ～

